

福祉情報誌

編集／社会福祉法人A J U自立の家
福祉情報誌発行委員会
発行／A J U車いすセンター
A J U自立生活情報センター

連絡先／〒466-0015
名古屋市昭和区御器所通3-12-1
A J Uリサイクル相談事業部内
TEL (052)851-0059
FAX (052)851-0159

暮らしに役立つ、ちょっとくわくすることがある、そんな情報を贈ります。

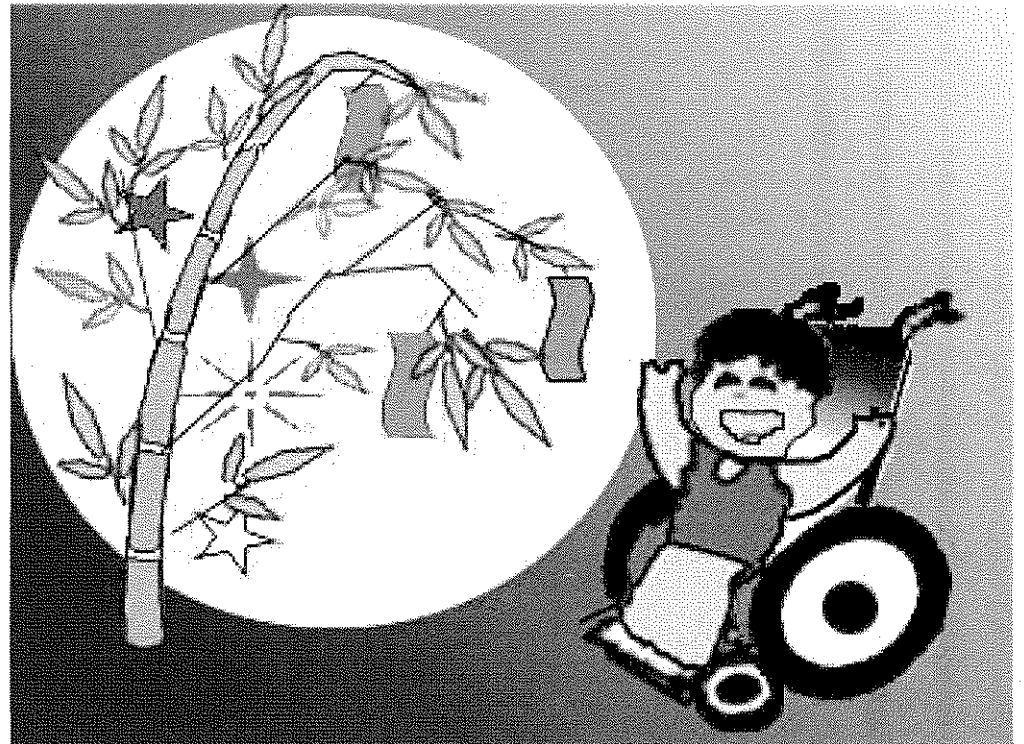
平成16年6月8日(火)増刊 通巻6259号 A J U自立の家
昭和54年8月10日 第三種郵便物許可
発行所／東海身体障害者団体定期刊行物発行協会
名古屋市中区丸の内3-6-43 みこころセンター4F

A J U自立の家

第70号
2004年6月10日号
定価**250円**

テーマ

あなたの声に こたえます。



絵 森みゆき

はじめの一步をふみだしたあなたへ

- 特集『あなたの声にこたえます』第1弾
普通学校に通う雅貴君のあゆみ……………1
- 特集『あなたの声にこたえます』第2弾
テレワーク支援団体を紹介します……………8
- 特集『あなたの声にこたえます』第3弾
都心の結婚式場『ラ・スースANN』…15
- レジャー情報
浜名湖花博へ行ってきました～……………19
- かつきのページ……………23
- トラベル情報
「秋の北海道」「京都・奈良の旅」
「ドイツ中世ロマンの旅」
「シンガポール旅行記」など……………24
- グルメ情報第33弾
Sharry's kitchen 花乃湯……………27
- 福祉機器情報
福祉機器のリサイクル……………28
- 読者の声
「ETC使用レポート」
「おいしいラーメン屋さん丸源」
「改装した映画館とレストラン」……29
- 福祉制度情報
「支援費制度の動向」……………30
- いろいろ情報
「あいちおすすめ旅情報」
「キャンプのお誘い」「お出かけガイド」
「シンポジウムのご案内」など……33

入園する前に、二ヶ月ほどお試し期間があり、親子で通園。入園するまで、何回も福祉課や園長先生と話し合いをしました。

ちか：雅貴君の様子は、どうでしたか？

新井：雅貴は内向的な性格で、自分から話しかけるのは苦手。友だちの様子を見て、楽しんでいることが多かったかな。

園内の移動は歩行器でした。

トイレや外出のときの手動

車いすは加配（追加配置）

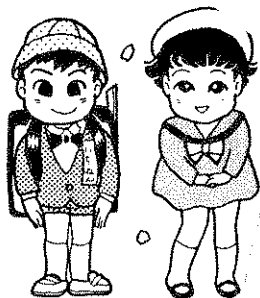
の先生が介助してくれました。



ちか：小学校を選んだ理由は何ですか？

新井：一番の理由は、お姉ちゃんと一緒の学校に通いたいと本人が望んだので。養護学校も選択肢の中にあり、養護学校に見学に行ったり体験授業を受けてみたが、どうも雰囲気になじめなかったようでした。養護へ通うとなると通学時間がかかることも。年長の1年間だけ地域の保育園に通った。1年間だけではあったが、

子どもたちの中で精神的にも成長し、療育手帳も必要なしになった。（身体障害者手帳のみに）友だちとの関わりを大切にしたいと思ったから。



いろいろな人に話を聞いて、 就学準備

ちか：就学前に何か準備をしましたか？

新井：上の子が小学校1年生の時、担任の先生に、体が不自由でも希望すれば小学校に入れるのか聞いてみたら、校長先生に聞いてくれて、直接校長先生とお話しする機会を設けてくれました。その時は、雅貴が保育園に入る前だったので、様子を見ながら考えましょうということ

でした。

年長で保育園に入った5月頃、児童相談所の発達相談で、「小学校に入りたい」という希望を伝えると、「早く教育委員会に伝えた方がいい」ということで、保育園の所長先生が教育委員会との話し合いの場を設けてくれました。

その後も、子どもと一緒に小学校の校長先生と会ったり、教育委員会とも話しをしました。園長先生や、他市で車いすで地域の学校を希望している人など、いろいろな人に相談しながら、進めて行きました。

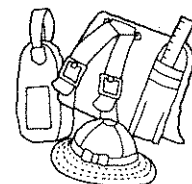
ちか：教育委員会の対応はどうでしたか？

新井：やはり、今まで普通学校に肢体不自由児（車いす使用）を受け入れたことがなく、なかなか理解してもらえませんでした。最終的には、親の強い希望と、親も学校に協力していくことで、入学できました。（小学校の特殊学級に1年から6年まで在籍）入学通知をもらってからは、校舎内のトイレ・スロープ・手洗い場の改修をしてもらい、1階と体育館への移動は、自分でできる様になりました。

もっと、サポートがあれば・・・

ちか：小学校では、どのようなサポートが必要でしたか？

新井：1,2年生のときは、雨でなければ片道30分の道を車いすを押して送迎。送迎以外にも、交流授業（普通学級に参加）の付添があったので、何回も学校を往復しました。そのときは車を運転して。歩いて登校していると、同じ通学路の子と仲良くなったり、外の景色を感じたり、できるだけ歩いた方がいいとわかっているけど、できなくなってしまう。あとは、プール・行事（遠足、社会見学、運動会、キャンプ、修学旅行、実習）の付添など。



6年生になると、スクールボランティア（※1）さんに入ってもらって、交流授業の付添をお願いできる様になりました。階段の移動は、先生または親が行い、高学年になると体重が重くなってきたので、男の担任の先生にお願いしました。

（※1）学校での介助を支援するボランティア。「肢体不自由児・者ボランティア養成講座」を受講した人たちが、「新井さん親子支援」という形で「スクールボランティア」に発展。

ちが：交流授業はどのような内容でしたか？

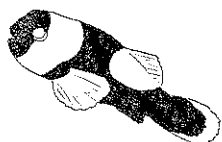
新井：低学年のときは、音楽・体育・行事など。高学年になると、それに、理科・英語・家庭科クラブ・委員会が加わり、週8時間ほど。毎日、1～2,3時間入っていました。5年生のときは、私が全部付いていました。ノートの書取は声かけをしながら本人が書いていました。私がいなときは、交流授業が受けられないので、どうすればよいか悩みました。

「地域の学校」と「養護学校」の 情報が欲しい

ちが：中学進学のときは、どうでしたか？

新井：半田市にひいらぎ養護学校（肢体不自由児）が開校するため、地元の中学に行くことは、かなり難しく、なかなか受け入れてもらえませんでした。

小学校を決める時は、子どもが地域の学校を望んでいたし、養護学校が遠かったので、早いうちから決めていましたが、中学になると、思春期で微妙な時期なので、かなり悩みました。養護学校か地域の中学校か、両方をよく見た上で検討したいと思い、ひいらぎ養護の情報を集めようと思いましたが、新設の為、情報が得られませんでした。4月に、半田養護学校の総会



でひいらぎ養護の説明があると聞き、特別に参加させてもらいました。養護学校在籍の人には、何回か説明会があったようですが、地域の小学校に通っている人対象には、説明会がありませんでした。

そして、6月頃から、ひいらぎ養護入学対象者の個人懇談会が始まり、懇談会を受けました。その時担当者に「できれば地域の中学に行きたい」と伝えると、「やれる所までやってみて、どうしてもうまくいかなかったら、いつでも養護学校にきてくれればいいので、頑張ってみては」と言って下さって安心しました。

結局、どちらにするかは、本人が見て聞いて決めることが必要だと思い、「港養護学校」と「武豊中学」を見学しました。そして、地域の中学校に行きたいという本人の意思を大事にして、中学に受け入れてもらえるよう話していきました。

みんなと勉強会

ちが：何か、仲間と一緒にしていることはありますか？

新井：平成15年6月頃から、月1回の「勉強会」をしています。小寺岸子（誰もが住み慣れた地域で暮らし続けられ



るように、車いす利用者の立場から活動をしている武豊町議会議員・37歳・頸随損傷）さんを中心に、町内の障害をもった子の親やボランティアさんが集まり、悩みや情報交換をしたり、議会に出して欲しいことを話したりしています。学校のバリアフリー化など、議会に出してもらいました。勉強会の参加者は12名程。今後は、地域に密着した情報提供や、相談など、安心して暮らせるよう話し合ったり、子どもの遊びの機会をつくっていかれたらと思っています。

他には、「いっぽの会」(*1)に参加。ここで、小寺さんと知り合いました。いっぽの会で、わが町を誰もが住みよい街にしようということで、いっぽ通信をだしたり、ボランティア養成講座をするなど、いろいろな活動をしています。

(*1) <http://www.chitanet.or.jp/IPPO/kainosyoukai.htm>

何回も、学校関係者と話し合い

ちが：中学進学に向けては、その後も話し合いが続いたのですか？

新井：進学に向けては、教育委員会・障害児の親・福祉関係者などが集まり、話し合いもありましたが、まだまだ難しい状態でした。体が不自由ということで、今の校舎では対応できない、介助者が必要、ひいらぎ養護が半田市に開校するなどのことから、当初はとても難しいと言われていました。

数回にわたり、中学校の校長先生・教頭先生と話したり、教育委員会もまじえて話をしました。社会福祉協議会が「スクールボランティア」の窓口なので、社協にも協力してもらいました。いろいろな人のお世話になりました。

12月には、小・中学校の校長、教育委員会4名と、私とで話し合い、現在の中学では対応が難しく、入学するとなると最善は尽くすが、ベストとは言えない。ひいらぎ養護学校ならベストな状態で勉強・リハビリが受けられるので、とかなり説得されました。でも、ベストでなくても、武豊中学に行きたいことを伝えました。

とはいうものの、「中学でやっていけるのだろうか？」という不安はあったので、1日中学に体験させてもらいました。そして、その時の、まわりの子の反応や、先生の指導、雅貴の様子をみて、できそうだと思います。ただ、トイレや階段の移動が難しそうでした。1月にもう一度、教育委員会と県の特設教育課と私とで話し合いをし、武豊中学に行きたいと最終の返事をして、ようやく入学通知が届きました。

階段昇降機と車いすで利用できるトイレの設置

ちが：中学校の対応はどうですか？

新井：中学は先生が教科担当制なので、介助が必要な子に対し時間を組むのが難しいし、成長期で体も心も成長する時期なので、生徒間の関わりがうまくいくか、校舎が古く増築されて段差が多くとても不便、トイレも狭く使いにくい、いろいろな子もいるので、どこまで雅貴に対応できるかわからない、今まで肢体不自由児が入った事がない、雅貴がおとなしいのでコミニケーションがとれるかなど、不安だらけでしたが、入学するなら武豊中学の生徒として最善をつくしたいと言ってもらえました。

校舎の段差は、学校が板で各場所にスロープを作ってくれて、トイレは障害者用トイレができるまでは、今のトイレに手すりを付けてくれました。階段昇降機（キャタピラが付いている）も入れてもらえることになりました。



特殊学級の先生も、とても熱心に対応してくれています。今年度の特殊学級3クラス、生徒全員で19名います。

ちが：中学校では、どのようなサポートが必要ですか？

新井：学校の送迎、教室の移動（階段昇降機操作）、体育授業の介助、トイレ介助など。スクールボランティアさんと一緒に、様子をみながらやっていこうと思っています。

これまでのこと、 そして、これからのこと

ちか：雅貴君が入学して一月半がたちました。学校の方は、どうですか？

新井：雅貴に「学校はどう？」と聞くと、「楽しい」と。たった一言だけど、この言葉に全てが含まれているかな。



初めは、学校に慣れるので精一杯だったが、最近はクラスの子と仲よく話をしたり、授業中も手をあげて答えたり、給食もたくさん食べられるようになったと、先生から聞きました。まわりの子ども、進んで手を貸してくれる。教室の移動やトイレなどが不便だけれど、学校の雰囲気もよく、先生方も熱心に接してくれています。ボランティアさんも、真剣に取り組んでくれている。子どもが楽しんで通ってくれるのが、なによりと思います。

姉への配慮、養護学校

ちか：新井さんの学校に対する思いを聞かせてください

新井：中学入学に関しては、学校を決めるまでと、入学通知がくるまでが大変でしたが、これからの子どもの長い人生を思うと、いい経験ができたと思っています。中学に決める時にもう一つ悩んだのは、兄弟のこと。上の子が3年

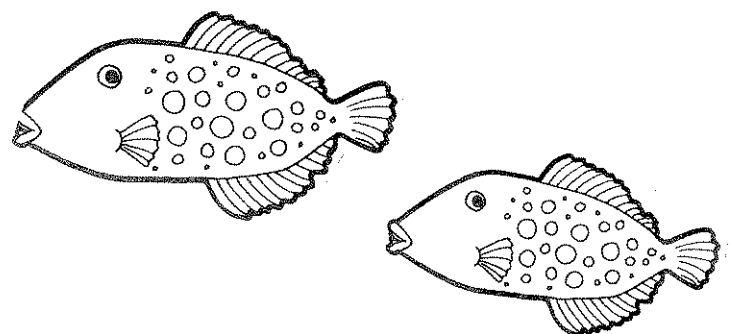
生で1年重なるので、上の子への心理的な影響は、かなり悩んだ。「雅貴が同じ学校になっていい？」と確認もしたが、内向的なので本心はどうだろうと…。上の子へのフォローも必要だと思っています。

養護学校を否定はしていないし、養護学校を選んだ方が付き添う必要がないし、進学もスムーズだったでしょうが、大きくなってから、「中学に行きたかった」「行かせていればよかった」と思いたくないので、後悔のないよう、できるところまで頑張ってみようと思いました。

「特殊学級」について

小学校では、6年間「特殊学級」にいましたが、「特殊学級」の子どもとの存在がとても気になりました。「特殊学級」に在籍しても「通常学級」との関わりはあるのですが、とても充実しているとは言えないと思いました。先生の意識にもよりますが、悲しい思いをする時もありました。交流授業に入ってもなじめない、お客さん扱い、特殊の先生と交流学級の先生とのつながりが薄い、特殊の生徒に対し、教師・保護者の理解が少ない。学校によって差はあるが、抱えている問題はよく似ていると思います。

「特殊学級」の先生もどうしていいのかわからない、一人一人の対応がわからない、試行錯誤の毎日で、とても大変だとは思っています。先生をサポートする態勢が必要だと思っています。専門性をもった人の指導や相談が定期的にあると、先生・子ども・親の関係がもう少しスムーズになるのではと思います。



支援費制度を学校でも 使えるようになるといい

思うことは、肢体不自由児が地域の学校に受け入れてもらうことの厳しさ…。予算がないといっちは断られる。落ち着きなく動き回る子どもに先生の手が必要なので、体が不自由な子には先生が付けないなど。親ががんばらないと、学校生活が送りにくい。地域によっては対応が違ってくるとは思いますが、町レベルでは、まだまだ理解が低いと感じる。支援費制度を学校でも使えるようになると、ボランティアさんが無理なところも補っていけると思う。親が付くのは簡単だけど、子どもが成長していく過程で、子離れ・親離れはとても大切なこと。私たちの子は、ただでさえ親離れが遅いのに、中学まで親べったりというのは、成長を妨げる。多くの子供は、高校進学の時点を将来のこと、進学先を真剣に考える。でも、障害をもった子たちは、保育園・小学校・中学校・高校、そのたびに悩む。そして、学校を出た後のことを、早くから悩んでいるのが現実だと思う。

雅貴君が通っていた 小学校に聞きました

ちが：車いすを使用する人の入学が難しいという理由は何ですか？ 難しいと言われていたのに、通うことができたのはなぜですか？ また、どのような制度が必要だと思いますか？
A：車いす利用者の場合、学校の建物の構造が不便で学校生活を送りにくいからです。また、6年間通えて卒業することができたのは、親御さんが頑張ってくられて、そのことを教師が受け止め、みんなで協力してこれたから。制度としては、学校は、校舎の構造が車いすでも対応できる、対応できる人員配置があればと考える。

武豊町・学校教育課に聞きました

ちが：階段昇降機やトイレの改装に係る費用はどこから出ているのですか？

A：すべて武豊町の予算で行っています。現在は簡易的に男子トイレの小用便器に手すりを設置し使用してもらっています。夏休みにトイレの改装工事を行う予定で、階段下の倉庫を車いすのまま利用できるトイレにと考えています。洋式便器、小用便器を設置。

愛知県教育委員会 特殊教育課に聞きました

ちが：養護学校、小・中学校の特殊教育クラスに配属されている教員は、本人の希望によるものですか？希望しなくても配属されてしまうことは、あるのですか？

A：教員採用区分には、小、中、高と盲・聾・養（同じ区分）とあり、採用試験があります。ですから、養護学校の教員を希望しない人が「養護」へ配属されることはありません。しかし、小、中学校の特殊教育クラスへは教員の希望がなくても、配属される場合があります。普通校へ配属されている教員で専門課程の免許を持っている人もいますが、持っていない人もいます。その場合、教育委員会では、教員に教育センターで行われる専門の研修をできるだけ受けるようにしてもらっています。愛知教育大学では、4年制の肢体不自由、知的障害の科があります。

町議会議員の小寺さんに聞きました

ちが：雅貴君の中学入学については、議会で質問していますが、その理由は何ですか？

小寺：議会で取り上げることですべてが前進するとは限らないのですが、特定の誰かの問題

で、誰かが頑張るのではなく、町全体の問題として考える必要があると考えたから一般質問しました。

ちか：議会では、具体的にはどのような質問をしましたか？

小寺：「障害を持った子の地域の学校への就学について」3点の質問をしました。

1. 町での就学の基準について
2. 介助員制度の導入について
3. 学校のバリアフリー化について

ちか：反応は、どうでしたか？

小寺：最終的には、親の判断で就学を認めるということでしたが、「就学基準」「就学指導委員会」の壁は大きかった。その分、親の精神的な負担は大きかったと思います。就学後の教育を補償するための環境づくり・体制づくりとして、町理解と住民の協力なくして雅貴くんの入学はありえなかったことと思います。

ちか：障害をもつ子の就学について、どのようなことを考えていますか？

小寺：障害のある子どもの教育環境については、分離教育・統合教育など様々な考え方があります。教育の場では、「その子に適した教育を…」という言葉をよく聞きます。しかしそれは、生活者としての私たちとは「その子に適した教育」の認識がずれていると感じることがよくあります。学校で学ぶ教育とは、学習能力なのか？社会適応力なのか？義務教育では学習能力を身に付けることも必要です。しかし、本当に大切なのは、社会で「住み慣れた地域で暮らせる力を身に付けること」ではないか？障害のある子が社会で生きるためには、何が必要なのか。それはひとり一人違う。それを真剣に考えることで、おのずから答えがみつかるように思います。今回のことを通じて感じたことは、国の定めた「就学基準」とらわれることなく、親の頑張りでもなく、「障害のある子に適した

教育」が受けられるように多様な選択肢を提供できる環境を用意し、「その子」を中心に考えていくことが大切だと感じた。障害への特別、差別、偏見をなくし、誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らせるために、ノーマライゼーションの社会を築いていきたい。

ちかの感想

4月7日、武豊中学の入学式。新井さんから送られてきた写真には、ちょっと恥ずかしそうで、でも、うれしそうな雅貴君が写っていた。あれから、一月半、体力的にしんどいところは、たくさんあると思うけど、今も、楽しんで中学に通っていると聞いて、私もホッとしたよ。それにしても、新井さんの前向きな姿勢には、頭が下がる。決して、楽しいとは言えない学校関係者の人たちとの話し合いを、これまでに何回も続けてきた。自分たちのことなのだから、相手にわかってもらうまで、話すことは必要だと思う。でも、これだけ頑張らないと今の雅貴君の生活はなかったことになる。やっぱり、どこか、おかしい。障害については、専門的なことが必要になってくる。でも、その子にあった教育、環境ってなんだろう…。社会にでるときのこと、将来のことを思い描くことができる、学校（学生）生活を過ごせるようになればと思う。

関連HPと本の紹介

★『お姉ちゃんと同じ学校に通いたい！』

障害のあるお子さんを持つお母さんから、就学時の体験などをヒアリングしてまとめたもの。1冊1000円。問い合わせは編集部まで。

★特別支援教育ネットワーク

「特別支援教育」についてのMLや、関連情報を掲載している。

<http://www.geocities.co.jp/NeverLand-Mirai/4312/03member/03index.html>

テレワーク支援団体 『NPO法人電気仕掛けの仕事人』を紹介します

「デスクワークはできるんだけど、通勤が大変・・・。」「体調が不安定で毎日働くのはつらい。でも働きたい」「自宅でできる仕事はないかな？」などの皆さんの声にお応えして、最近はやりのテレワーク(*1)を支援している団体『NPO法人電気仕掛けの仕事人』に、くらくら（脳性マヒ・独歩・一般就労）とかある（脊髄損傷・車いす使用・パート）が取材に行ってきました。



(*1) 情報通信技術（IT）を利用した、場所・時間にとらわれない働き方のこと

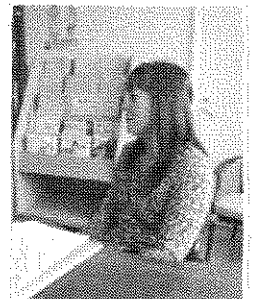
読者の皆様のご要望より

- 在宅就労の情報がほしい。
- べた打ち等のバイト情報がほしい。
- 障害が重度化したため、在宅でできる様な仕事はないかな。
- 障害者の雇用状況を知りたい。
- どんな職種があるか？
- 障害をもつ人がどんな仕事についているか、何をしているか知りたい。

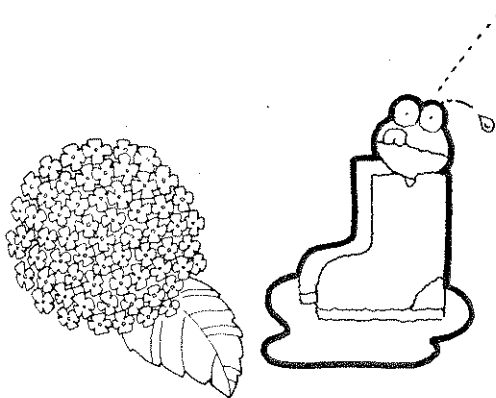
登録から仕事を得るまでの流れ、自分の力でお金を稼ぐことの厳しさまで、代表の脇さんにバッチリ聞いてきました～。

団体ができたきっかけは何ですか？

脇さん：パソコン通信(*2)の頃から、長時間の外出が困難な人たち、例えば障害を持っていたりとか、子供が病気を抱えていたりとか、母子家庭だったりという事情を抱えた人たちと集まってできたグループなんです。在宅で仕事をしている仲間の中で自分の子供が急に入院したりとか、事故が起きたりした場合には、仕事をおぎないあつて生活費などを稼ぐのに影響がないようにできればという思いで立ち上げたのが「電気仕掛けの仕事人」（以下、仕事人）です。



(*2)インターネット以前に普及していた通信形態のこと



会員は障害を持つ人 だけではないんですね？

脇さん：2002年に法人申請をして、'03年に法人登記をしました。会員数は賛助会員（後述）、現在の登録会員を含めて、現在50人は超えていると思います。在宅で仕事をする自営業の集まりとして活動していますが、「障害者の方を支援する」とか言うことではなくて、たまたま在宅で仕事をして行こうと集まって来た人の8割以上が身体どこかに障害を持っていたという感じです。当時、パソコン通信にはどちらかという障害を持つの方がアクティブでしたからね。ウチ、子供が喘息だったんですよ。夜発作が起きますよね。そういうときに、「明日の朝までにここ直して！」ってすぐに頼めるのが、やっぱり障害を持った方だったので。そういう繋がりでも必然的になって行ったんじゃないのかな。という経緯があって、障害を持つ方に限定した団体ではないけれども、障害を持つ方の方が多いというメンバー構成です。

愛知県の障害者テレワーク支援事業 (*3)の委託を受けているんですね。

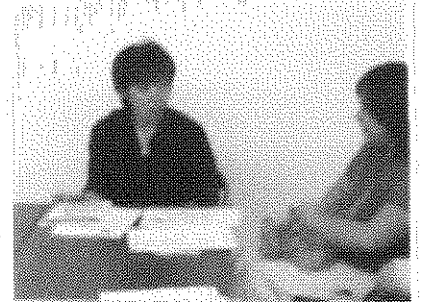
脇さん：そんなこんなで、草の根のような活動をしていたんですが、昨年、愛知県の障害者テレワーク支援事業の事業者の募集がありまして、たまたまウチが障害者の方が多いということもあって、売り込み折衝の結果、登録させていただくことになり、7月から県の指定のNPOとして、テレワーカーと企業の窓口となって、仕事を開拓して行こうというかたちで行ってます。

(*3) 障害者がIT技術を活用して、自宅で仕事をするために、NPOと協働して、仕事の受発注や専門技能の習得のためにアドバイザーを派遣して、テレワーク活動を支援する愛知県の事業

事業の大きな流れを 教えてください。

脇さん：具体的には、応募してみえた方は、仕事人の中で過去にやったもので、クライアント（企業など）から許可を得たものを課題として出し、ちゃんとできるかということを判定した上で、テレワーカーとして登録していただきます。

登録の後、仕事の情報として、その仕事について受付け値はいくら、仕事人の事務経費は何割、あなたの取り



分はこれだけです、仕事の遂行をフォローした場合はそこから差し引きますよ、というかたちでお仕事情報を流させていただきます。ですから、世間相場はだいたいこのくらいかな、と分かりますし、やる気次第では1人でやればこれだけ稼げるんだなということも分かっていたいただけるんじゃないかな。

面接（基礎能力テスト）

↓
課題提出（ビジネス知識 スキル確認）

↓
判定

↓
テレワーク会員登録（年会費3000円）

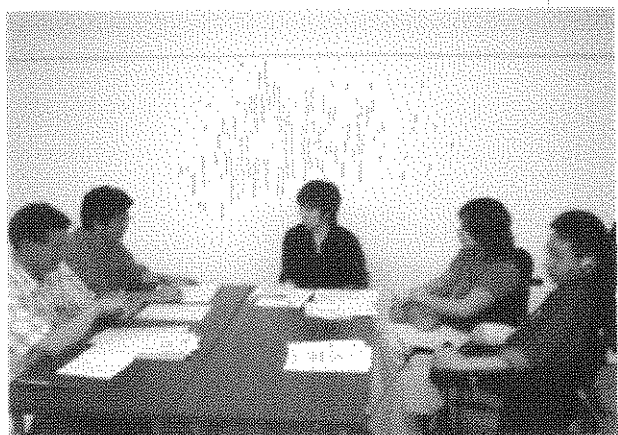
↓
仕事情報提供

↓
仕事（レベルによって異なる）

- ・ 仕事人が発注したものを請け負う
- ・ 自立自営（仕事人の紹介により企業と直接契約したもの）
- ・ 自力営業（報酬は100%得られる）

障害を持つ人、持たない人、経験のある人、ない人など、さまざまな方が集まってくると思いますが…

脇さん：そんな中で、やっぱり社会経験がない方も多いです。いろいろな資格を持ってテレワーカーとして登録されるのですが、仕事の全体の流れが掴めなくて、なかなか仕事に行かない方がいらっしゃるので、仕事の流れを掴めるような講座を開講しています。企業からどんなオーダーが来て、それがどういう目的でオーダーされたものなのか、ということを考えながら仕事をする。そうすれば「作品」ではなく「商品」として価値あるものに仕上げられる。ということを意識させるような内容の講座です。



具体的に、どんな事業部があるんですか？

脇さん：徐々に、同じ技術を持つ人たちがグループをつくり、リーダーができたところから事業部が立ち上がりまして、情報処理事業部だとか、IT講習事業部、CAD（コンピューターを利用した設計・製図）・建築事業部、WEB（インターネットで情報を文章や絵や音などにして表現したり、他の情報ページへ移動したりする仕組み）事業部、翻訳事業部、住宅のバリアフリーアドバイザー事業部などがあります。

テレワーク登録している人たちは、どうやって集まってきたんですか？

脇さん：去年のテレワーク支援事業で集まってきた人については、愛知県から広報が出でて、それからメールで応募されたかたちです。それ以外は口コミといった感じです。



登録会員は、年会費を払うんですか？クライアント(仕事の依頼主や企業)も会費を払うんですか？

脇さん：はい。会員になったら必ず払います。でも仕事の依頼主や企業は払いません。仕事をもらえれば、それだけでありがたいことなので、仕事は出せないんだけど応援したいという場合は、賛助会員になってもらっています。

中心になって動いているメンバーの中に障害を持っている人はいますか？

脇さん：いないことはないのですが、現在のところ、介助ができるスタッフが少ないのは事実です。障害を持った人が打ち合わせに出かけるときでもその人の介助などは必要ですからね。

登録しようとする人を、仕事がどれだけできるかを判定する際、何か基準はあるんですか？

脇さん：最初に必ずスタッフたちと面接をさせていただきます。その時、「自分はこういうことができます！」というふうに自己アピールしていただきます。重度のまひで手を使っ

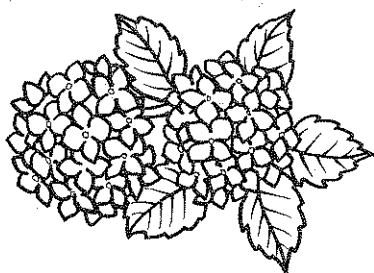
動作は遅いけれど「データ入力」を希望される方もいます。「ちょっと難しいかな」と思われる場合でも、過去の仕事を課題として取り組んでもらい、充分こなせるレベルであれば採用です。もうちょっと努力が必要という方は再チャレンジとなります。判定の具体的基準は、仕事のレベルというよりも、やはり「やる気」ですね。パソコンのスキルなどは、独学で習得できます。ですから、それはあまり重要視しません。それ以上に「高い技術を身につけたい」、「この業界（分野）についてもっと知りたい」という意欲。これを持った人の方が伸びるんです。入ってきた時は未熟な技術でしたが、半年で初報酬をもらえるようになった方もいらっしゃいます。

仕事はどうやって集めてくるんですか？

脇さん：いろいろあります。チラシを置かせてもらったりとか、企業にDMを出したりとか。今も向こうの部屋で封筒詰めをしていますが。

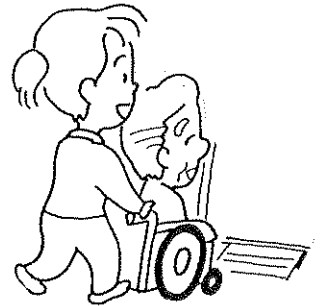
会員の就職の斡旋はするんですか？

脇さん：職業安定所とは違い、就職の斡旋は行っていません。でも、クライアント（企業）から仕事を任されて行くうちに、実力を認められ、そこへ就職していく登録会員も実際にいますし、独立して仕事をする方もいますよ。



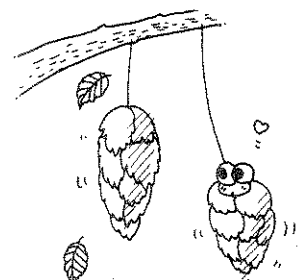
全く外に出られない方が仕事をもらうことはできるんですか？

脇さん：ここへ来たり、クライアントの会社などへ打ち合わせに行く前に、「車いすで階段は昇れません」とか「介助が必要ですよ」と伝えていただければ、ある程度の対応できます。でも、う～ん、全く外出できない人は、なかなか大変ですよ。せめて、その仕事に慣れるまでは打ち合わせが何回か必要ですよ。それがある程度軌道に乗ってくれば、そこからは在宅でOKなんですけどね。



今、困っていることなどはありますか？

脇さん：やっぱり、メンタルの問題ですね。在宅で仕事をしていると、私もそうなんですけれども、仕事が溜まってしまいがちです。やらなければならない仕事があっても、落ち込んだり、やる気が出ない時は、どうしても自己弁護に走っちゃうんです。そうなった場合、現状は、「早く出してください」とお願いするしかないですが、カウンセリングの専門家の方にメンタルのケアを任せられる体制づくりが必要だと感じています。あと、登録会員の方には、もっと『自分を出す』ようにして欲しいです。特に在宅だと、今の状況とか、気持ちとか分からないですよ。年に何回でいいから、こちらに来ていただいて、顔を向き合わせてお話できれば、もっと分かり合えるのにな、と思います。そういう苦手な方多いんですよ。すごくもったいない気がしますね。



登録をしても、全く仕事に あいつけない方もいるんですか？

脇さん：はい。そういう方もいらっしゃる。大半の方が、登録さえすれば仕事が回ってくるものと期待して入って来られますが、違います。クライアントが求める技術水準やスピードに応えられる人は、まだまだ少数。ですから仕事人として受注した仕事すべてをテレワーク会員全員に発注するというわけには行きません。仕事をつかむためには、ここでも自助努力やチャレンジ精神が必要なんです。仕事って『一生勉強』じゃないですか。やってみなければ分からないですよ。『自分の力はここまでだから』と、いつか機会を逃したら、一生そのレベルがら向上することはできません。みなさん、「こういう仕事をしたい」というような目標や理想を持って登録されているはずなので、周りですでに仕事をしている方の姿勢を見習いながら、チャレンジして行かれたらどうかなと思うんですよ。



やる気はあるんだけど、障害で作業が 遅いという人の仕事については、 どう考えていますか？

夏目さん：この問題は、『永遠のテーマ』というか、発足当初から話し合われていて、未だ出口が見えてないですね。自分も中途障害を持って企業で働いた経験があります。見た目、手は普通ですよ。だから「あいつ、やる気がない！」と非難されました。また言語障害も当時はひどかったんで、内線などの対応には苦労しましたので気持ちは分かります。でも、時間内

に質の高いものを要求される在宅就労の仕組みの中では、それをカバーするのは不可能です。企業は、より早く正確に仕事を仕上げてくれる団体に任せたい訳ですから。そういった方たちが就労しやすいよう配慮させた福祉工場や授産施設などがありますが、賃金は低いですね。逆に、企業からお金を貰って仕事を任されている以上、現実としては、障害があることを理由に、仕事の質や商品の納期などに妥協は全く許されないんです。

脇さん：でも、しゃべることはできますが文字盤を併行して使っている方で、企業から来た仕事は無理でも、仕事人の内部でスケジュール管理や各会員の仕事の遂行状況の把握などの業務のコーディネートをしている方もいます。起きていられる時間も限られている中で、自己調整しながら電話やメールを用いて仕事に励まれています。

最後に、今後の夢や展開について 聞かせて下さい。

脇さん：こうやって行こうという大げさなものはないです。ただ、私の仕事を手伝ってくれる人を探そうとして仲間づくりを始めて、8年がかりでここまで来たという経緯もありますので、同じように仕事を手伝って欲しい人たちがうまく連携して、障害を持つ方や母子家庭の方でも「もし、自分の体調が悪くなったら、仕事はどうなるんだろう…」というような不安を少しでも軽減できるよう助け合えるような団体になって行けばいいなと思います。また、今、在宅就労がもてはやされているというからではなく、自分がやりたいことができる場、自分の気持ちや個性をもっと出せる場にして欲しいです。

「仕事人」と関わりを持ちたい という人は、どうすればいいですか？

登録会員や賛助会員になりたいという方は、ホームページからメールで申し込んでいただければOKです。賛助会員にならなくても、応援していただける方はうれしいです。動けるスタッフが少ないので、このビルに入るときでも、玄関の段差は大変ですし、イベントを開催するときにお手伝いいただける方がいると助かります。

「仕事人」で仕事をしている人に インタビューしました。

Aさん（男性、33歳、頸椎損傷）

○ どうしてこの仕事人の事を知ったのですか？

去年の9月頃、リハビリテーションセンターの更生施設で職員の方からやってみないかと言われて知りました。

○ どんな面接をして仕事の内容を決めましたか？

フリーのライターをしているスタッフと面接をして、自分のやりたい仕事の希望を出して正直に何も出来ない事を伝えた上で、いろいろお話をしていくうちに自分に出来そうな仕事内容を提案して頂き「バリアド事業部」という部の仕事を引き受ける事になりました。パソコンは出来ないし、文章を書く能力もないので、このバリアフリー機器の開発のアドバイスをする仕事なら出来る！と思い引き受けました。

○ バリアド事業部というのはどんな事をするのですか？

バリアフリーアドバイスを略して「バリアド」と言います。去年10月に新規事業部として立ち上げました。障害を持っていると日ごろの生活の中で「こんな商品があったら助かるな」

と感じることもたくさんあります。そうしたユーザーの立場から開発中のバリアフリー機器のモニター調査や医療専門機関での調査などを行う所です。

○ 初めての仕事はどんな事でしたか？

ある企業から車いすのフットレストのアンケートの作成を頼まれました。何回も直されて結構時間はかかりました。今思えばこのアンケート作成が自分がどれだけ出来るのかの課題だった様な気がします。あとこのフットレストの施設などでのデモの企画でした。この仕事を依頼した依頼主と単価を決める時、初めてなのでいくら提示をしたらいいのか検討もつかなかったのですが、この金額でと言ったらいいでしようと返事がもらえたので振り込みを心待ちにしているのですが、まだ振り込まれていないのですハハハ……。

○ これからの仕事は？

バリアド事業部は月に2回会議があり事務所に行きます。今の所、具体的な仕事の依頼はありません。この仕事は自分に合っているので、どんな仕事ができるのか楽しみにしています。自分のスキルアップのためにパソコンの勉強もしたいと思っています。丁度、5月からパソコンの勉強と実際に社会で流れている仕事を課題として体験実習ができる講座がここであるのでそれに行く予定です。

Bさん（女性、24歳、体幹機能障害）

○ どうしてこの仕事人の事を知ったのですか？

去年、くれよんBOX(*4)のホームページの福祉ニュースを見て知りました。

(*4)名古屋市にある民間小規模作業所で、本誌編集委員を中心に障害を持った仲間が集まり地域の人たちと共に楽しく活動している。<http://www.crayon-box.jp>

○ どんな面接を受けて会員になりましたか？

まずメールで連絡を取って、データ入力、DTP編集、校正、テープ起こし、リライト、バリアフリーアドバイスに興味がある事を伝えました。あと、パソコンの使用ソフトとバージョンもです。それから3人のスタッフの方と面接をして、文章も書いてみたいという話もしました。次に創文の課題を出されて、それにクリアしたので会員になれました。

○ 初めての仕事はどんな事でしたか？

チラシ作りです。手書きのデータが来るのですが、初めはどこまで自分で変えていいのか分からなくて困りました。最終的にはスタッフの方がチェックをして依頼主に出してくれました。この仕事は納期が短かったので終わったら疲れしました。その他に単語入力とイラストレーターを使った編集のような仕事をしました。

○ これからの仕事は？

メールで仕事の内容が流れてきてその中から自分のやりたい仕事を探すので、自分の予定と納期が合えばやりたいです。仕事の内容は、納期と単価が提示してあるので自分の都合に合わせて選ぶ事ができます。その時の調子で決める事ができるし、困ったらスタッフに相談が出来るので安心してできます。初めは請求書の出し方とかをサポートしてもらえました。トイレのことと体力的に毎日外出するのができなくて、家で仕事ができたらなあと思っていたので自分には合っていると思っています。自分ができる仕事が毎月ある訳ではないので収入は安定していません。私はこの仕事だけで生活をしたいとは思っていないので大丈夫ですが、この仕事だけで生活をしようと思うとちょっとパソコンの技術のレベルアップを

して出来る仕事が増えないとやっていけないでしょうね。

**感想**

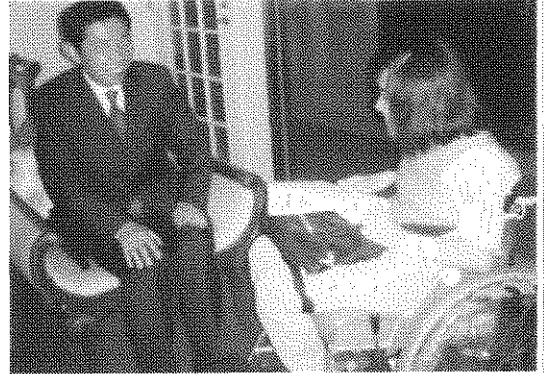
自分の好きな時間に、都合のいい場所で働けるとは、毎日の電車通勤が苦痛になってきたぼくにはとても魅力的です。興味を持たれた方も、きっと多いんじゃないでしょうか？その一方、自分の力で仕事を勝ち取って、お金を稼いで行くのは、大変なことですね。「食べて行く」ためには、自分で勉強すること、不断の努力が必要なんだなと実感させられました。お話の中にもあったとおり、最後に大きくものをいうのは、「やる気」だとぼくも思います。

でも、それだけで本当にすべての障害を持つ人たちの就労の問題を解決する事ができたら、働けずに困っている人なんて、この世に一人もいないはず…。どんなに頑張ったって、体が動かないんですからね。個人的に言えば、一般企業の上司の方がずっと面倒見がいいです。仕事を出す側や教える側が、責任を感じてもっと知恵を絞って欲しいです。でもまあ悲しいかな、この問題の解決はまだまだ難しいのでしょうかね。

とはいえ、テレワークが、デスクワークには支障がないのに移動や活動時間に制約があるという理由で、企業等へ就職できなかった人に、能力を十分に発揮できる場を与えてくれたように、いつかもっと重度の障害を持つ人たちが働ける選択肢ができるのではないかと思います。

都心の結婚式場 『ラ・スースANN(アン)』のご紹介

みなさん、こんにちは♪お出かけ大好きの“いづみ”です。(頸随損傷。手動と電動、両方の車いすを使用しています)今回は、車いすを使用されている読者の方からの「この結婚式場がとても良かったから、ぜひ取材してください」というウレシイ声にお応えして、オープン3年目の『ラ・スースANN(アン)』を取材してきました～。



.....

読者Aさん(脊損/女/手動車いす使用)より

姪の結婚式に出席するために、わたしが利用しやすい場所を探し、やっとココを見つけました。チャペルの前には段差があるけれど、横にスロープが付いているし、トイレも標準タイプで使いやすいかったし、店の出入り口には点字ブロックがエレベータ前まであるし、ほとんどバリアフリーで完璧でした♪ぜひ、取材して下さい。

.....

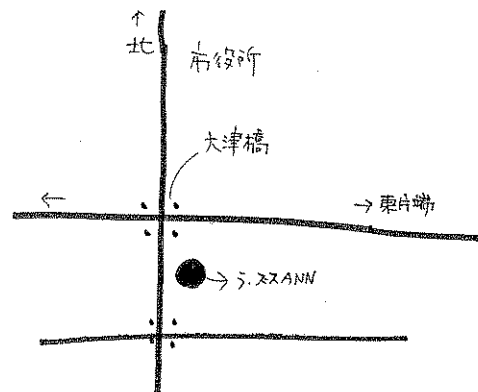
行ってきました～すてきな式場

一日一組限定という、とても贅沢なレストランウェディングのできる式場でした。非日常的な、ゆったりと時の流れる空間の中で、参加者全員が楽しい時を過ごせそうです。



●基本データ

場 所：愛知県名古屋市丸の内3-5-27



連絡先：TEL 052-950-0280

FAX 052-950-0284

営 業：9:00～21:00

問合せは10:00～21:00(水曜定休)

駐車場：立体駐車場26台あり。車高150cmまで対応。無料。

パーキング前で車から降り、代行運転介助あり。

アクセス：

<電車>地下鉄名城線・桜通線の『久屋大通』駅より徒歩6分。エレベータあり。<車>名古屋高速『丸の内』インターから1～1.6km。(車で5～6分)



●ウェディングデータ

人数：着席～100名、立食～120名

これまでに、最大100名から最小18名に対応している。

料理：フランス料理（リクエスト料理可能）

設備：挙式会場、チャペル、披露宴会場、メイク室、控室、美容室、着付室など

予約：1年半前くらい～3週間前

キャンセル：4ヶ月前まではキャンセル料は無料。4ヶ月～3ヶ月→5万円、3ヶ月以内～2ヶ月→10万、2ヶ月～1ヶ月以内→30%、1ヶ月以内→50%、1週間前→100%

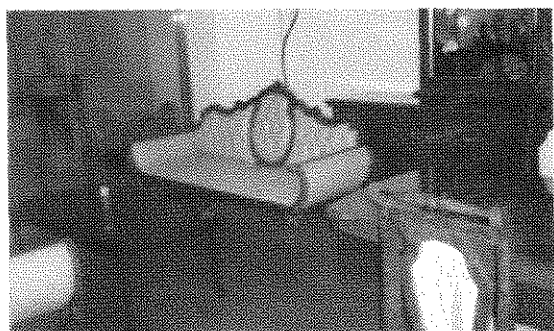
建物内の様子は？

4階建てで、下記のようになっています。

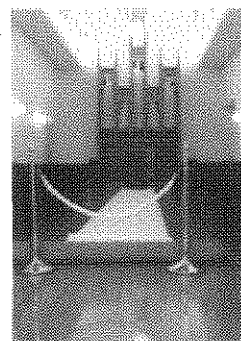
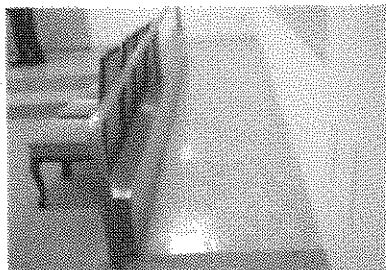


- 1階 打ち合わせ室・新郎新婦のご両親の控え室
- 2階 受付・控え室（ウェルカムドリンクが飲める）
- 3階 メインホール（披露宴会場）
- 4階 チャペル

2階の控え室兼ウェルカムドリンクが飲める場所は、結婚式がないときには、レストランとして開いています。



館内の必要な場所にはスロープが設置されています。ただ、4階の"ホワイエ"（エレベータを降りてからチャペルまでの空間のこと）と3階ロビーの床はじゅうたんになっています。

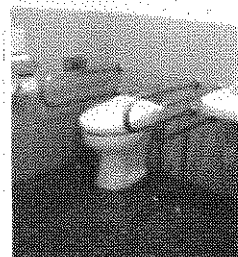


花嫁、花婿さんの控え室は
バリアフリー？
トイレはどうなっているのかな？

控え室は、4階チャペル横の細い通路を入った奥にあります。扉の敷居部分が1～2cmの段差になっていますが、室内の床はフローリングで段差がなく、車いすのまま入れます。室内に、着替え用の畳スペースもありますが、ここは床に畳が置いてある状態で、入口がカーテンになっています。

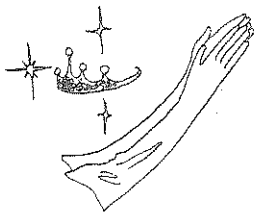


身障者用トイレは、控え室内にはありませんが、同じ階にあります。



ドレスはどこで選べる？ 何種類あるのかな？ 持ち込みもOK？

100点くらいあって、選べます。形式として、レンタル、セミオーダー、オーダーの3種があります。レンタルとセミオーダーの料金は、最低5万円。セミオーダーでは、レンタルのドレスを料金はそのまま、その人のサイズに合わせて直すことができます。買い取りもできます。オーダー料金は、最低40万円から。この式場のオーナーは、女性の方でデザイナーなので、ドレスを作るのは得意分野だそうです。持ち込みの場合は、保管料（ドレス何点でも）として1万円かかります。



髪飾りなども借りられる？

たいていドレスとセットになっています。ティアラやネックレスもセットに含まれます。単品でアクセサリー等を借りることもできます。



車いすの方が挙式されたことは？

まだないそうです。けれど、視覚障害を持つ新郎新婦の結婚式のときに招待客で車いすの方が15名ほど利用されたそう。その時は、『誓いのことば』を全部点字にしたり、招待状も、点字の部分は新郎新婦が作り、張り付け作業を新郎新婦と式場側で半分ずつ行い、点字で打ったものを張り付けて作ったそうです。



教会式・人前式、それぞれの 内容とちがいは？

一般の方がパツと見た場合、どちらがどちらの式か分からないくらい内容が似ています。開式の辞があり、うたがあり、お祝いのメッセージがあり、指輪交換があり、誓いの言葉があり…。ただ大きく違うのは、教会式はイエス・キリストの教えを布教することを目的としたものであって、人前式は、来ていただいた周りの人たちに結婚を認めていただく形になっていることです。けれど、教会式でも、事前の聖書からの学習はありません。

いちばんシンプルなプランで 予算はいくらくらいかかるの？

ドレスを借りて式だけ挙げるとしたら、20万円くらい。
内訳は、人前式（10万円）



または教会式（12万円）

+残りは、メイクと衣装。プランは作っていないので、人数と料理により、ご希望に合わせて変わります。すでに海外ウェディングなどで式だけは別で挙げられた場合は、例えば、会費制で一人1万円として、ドレス込み（1点）の立食パーティー形式もできます。

この結婚式場の セールスポイントは？

- ポイント1
一日一組限定の貸しきりなので、ゆったり過ごせる。



- ポイント2
レストラン・ウェディングなので、料理が美味しい！料理は、和食の感覚も取り入れたフレンチのオリジナルメニュー。

●ポイント3

バリアフリー対応。また、レストラン・ウェディングと、本格的なチャペルでの挙式ができる。

●ポイント4

1つの披露宴会場には、ふつう1人の黒服（キャプテンのできるスタッフ）の場合が多いが、ラースは、そこにキャプテンが6人いる。スタッフ全員がキャプテンなので、行き届いた細かなサービスができる。

★フライダルフェア(予約性)★

7月4日、18日、19日、25日の17:00～20:00

パイプオルガン生演奏見学会、デザート試食会等

いづみ感想

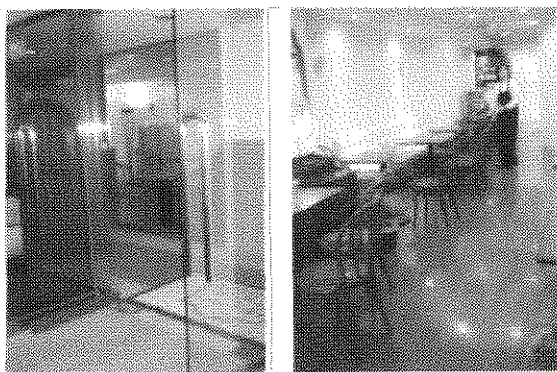
入口の間口幅（狭く感じた）からは、どこに式場が??と不思議に思いましたが、入ってビックリ！意外に奥行きがあって中は広く、とても落ち着いた雰囲気のあるきれいな式場でした♪オーナーは、福祉に力を入れたいと言われる方で、海外で福祉も学んだ女性のデザイナーさん。担当者の方は以前、総合結婚式場で支配人をされていた経験豊かな方で細かな相談にも応じていただけるとのこと。とても安心しておまかせできそうな所でした～。

おまけの「グルメ情報」

2階にあるレストラン

ビストロ ラ・スースANN(アン)

種類：フランス料理



営業：ランチ11:30～14:00 1000円～（税別）

ディナー18:00～21:00 3000円、4000円、6000円コース

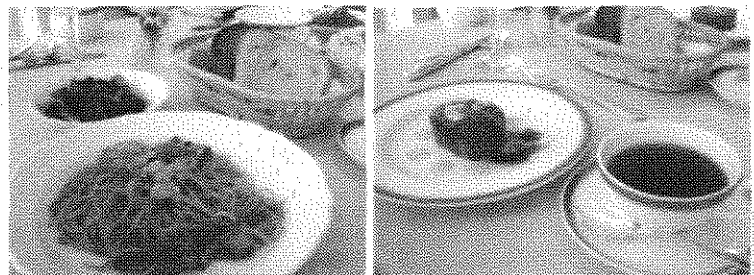
※ランチはブライダルが入っていない限り、土日・祝日いつでもやっている。

連絡先：TEL 052-950-0281 FAX 052-950-0284

※貸切されている場合があるので、事前に電話で予約されることをオススメします。

★ランチは素材を重視して、毎週決める！

例) マトリチャーナ（パンチエッタのハムとベーコンを使ったトマト系パスタ）にんじんとポテトのポタージュスープ、サラダ、くるみパン、黒糖ロールケーキ、紅茶



★メイン料理を3種の中から1つ選ぶ+パン+サラダ+デザート+コーヒー（または紅茶）

★ディナーは、4000円、6000円コースを誕生日で予約された方に、ハーフボトルプレゼントがあり。

★毎週火曜日は、女性サービスデー♪

★忘年会や二次会もできる。平日の忘年会などの予約は特に期限なし。二次会の場合、3ヶ月前から予約が必要。

■基本データ

出入口：自動ドア 段差なし

イス：60席 移動可 テーブル席

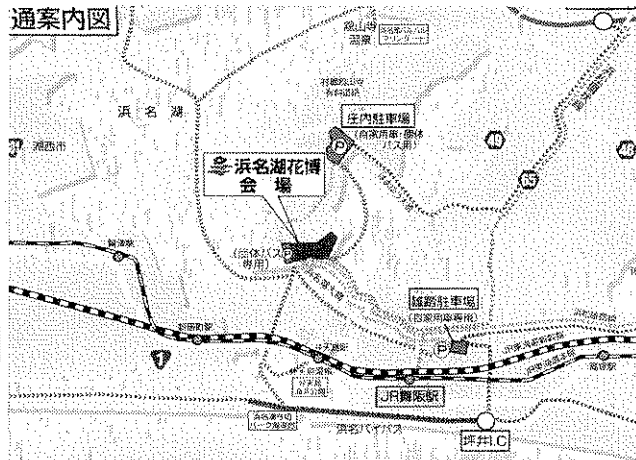
トイレ：4階の身障用トイレを借りることができる。※レストランのスタッフに伝えてネ。

駐車場：結婚式場と同じ

浜名湖花博へ行ってきました～

お待たせしました！『花博』の取材に行ってきました～。克己（脳性まひ・電動車いす使用）は電車で、いづみ（頸随損傷・車いす使用）は車を利用してアクセスしました。参考にして下さい。『花博』は、しずおか国際園芸博覧会「パシフィックフローラ2004」の愛称で、国際機関に認定された『国際園芸博覧会』です。世界中の花と緑が一堂に集まっています。

通案内図



概要

テーマ：「花 緑 水 ～新たな暮らしの創造～」

場所：静岡県浜松市村櫛町

会期：平成16年4月8日(木)～10月11日(月・祝)の187日間

開場：9時30分～17時30分（7月20日（火）～8月22日（日）は18時30分まで）

広さ：56ヘクタール（東京ドーム12個分）
端から端までの距離は1.3km。

3つのエリア：

花の街 メインゲートを入ってすぐのエリアで、花と緑の中に、浜松の名産品や世界中の土産物ショップや飲食店が並んでいる

水の園 展望台の「きらめきタワー」や、ミュージカルやコンサートなどが開催されるメインイベント会場「水辺の劇場」がある。

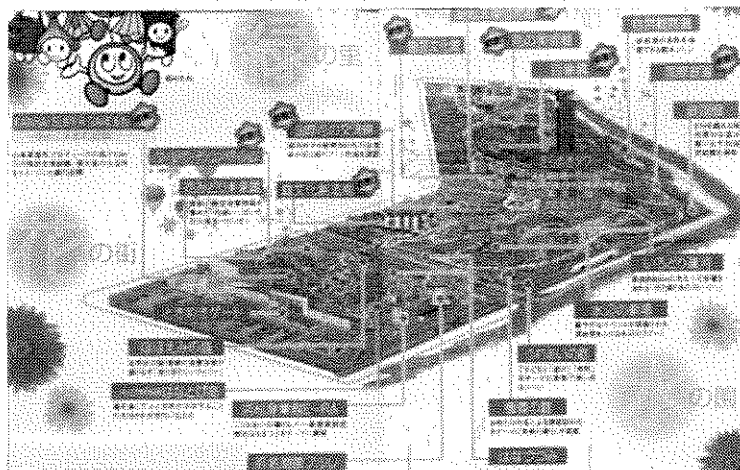
緑の里 170を超える世界各国の「庭園」や50万株の花や草木を楽しめる「植物園」などがある。フランスの印象派を代表する画家「クロード・モネ」の庭と家を再現した「花の美術館」もある。

ユニバーサルデザインの取り組み：

- 身障用トイレ27箇所、オスメイト対応3箇所
- 点字の案内チラシを用意
- 手話対応（総合案内所）、筆談用筆記具（高齢者休憩所と各案内所に配置）の準備あり

- 車いすのレンタルなどのサービス
- 会場内はすべて勾配4%以内に統一
- 各案内所はローカウンターを設置
- 会場内各所にレイズドベッド（車いす利用者や体が不自由な人が作業がしやすいようにと作られた、高さ60cm程度のプランター）を配置

料金：入場券 大人 2,900円（18歳以上65歳未満）、シニア 2,000円（65歳以上）、高校生 1,500円、小中学生 800円
◎身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳及び被爆者健康手帳を所持する者とその介助者1名まで、大人 1,500円、シニア 1,000円、高校生 800円



かつみの取材旅行

スケジュール

10時27分 名駅発 (JR東海道本線新快速)
乗車
11時36分 舞阪駅着(乗車69分)
ノンステップバスに乗車
12時30分 会場到着
17時30分 会場出発
18時58分 舞阪駅発、ノンステップバスに乗車
20時13分 名駅着

必要なお金 : 4,140円 + α (電車1880円、バス260円、入場料1500円、クルーズ500円)

到着まで

○**名古屋駅**は、業務用エレベーターでホームにあがりました。簡易スロープを用意してくれたので利用。電車とホームの間隙間はそんなになかったです。

JR舞阪駅では、駅員さんが電動車いすを支えて車両から降りるのを手伝ってくれました。ただ、段差も隙間もあまりなかったので、一人で降りることもできそうでした。もちろん不安な人は介助を頼むといいと思います。

舞坂駅から**会場まで**は、20分に1本程度の間隔でノンステップバスが運行されています。

■ 舞阪駅データ ■

エレベーター : 一方向式。バックする必要がなくて便利
身障トイレ : 開閉ボタン付き、スペース充分、L字手すりとは跳ね上げ手すり付き、
バス乗車券 : 駅で購入
バスの料金 : 身障割引がきいて往復で260円
乗車の時間 : 10分



会場

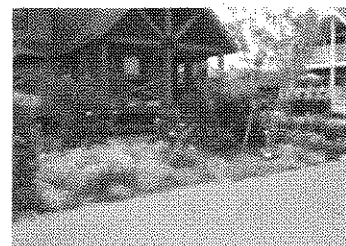
メインゲート前の自動販売機コーナー付近に身障トイレがありました。その近くに「高齢者の休憩所と車いすの貸し出し所」があります。

ゲートを入るとすぐ、お弁当やたこ焼きなどを売っている飲食店があり、活気があり楽しそうでした。うなぎ弁当を食べましたがおいしかったです。そこをぬけると各国のおみやげ物屋が軒を連ねて、ポリビアのおじさんがオカリナを演奏していたり、ラクダの皮を張った太鼓を演奏していたり楽しそうな雰囲気でした。飲食店街やみやげ物が並んでいる



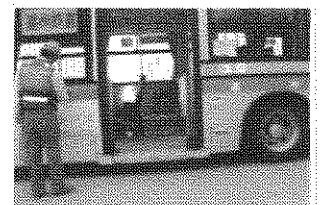
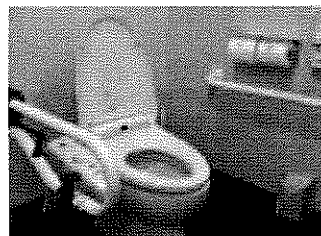
エリアは「**花の街**」という名前でした。休憩所は要所要所に設けられてはいますが、混んでいたら座るのは難しそうでした。

さて、そこから20分程歩くと「**モネの庭・モネの池**」にたどり着きます。(メインゲートから歩くと一番奥に位置する)庭は電動車いすでの移動は全く問題ありませんが、地面が砂地なので手動車いすの場合は少し大変かもしれません。



モネの庭の近くに**遊覧ボート**乗り場があました。電動でも手動でも車いすのまま乗りこむことができます。

ただ天井が低いので、乗りこむ時に頭を下げ乗る必要がありました。その池の近くの北9番ゲート付近に身障トイレがあり、それと並んだ一般の男子トイレの中にも身障トイレがありました。



感想

滞在時間が短く、あいにくの雨でしたが、花もきれいだし、雰囲気もとても楽しかったです。皆さん、一度行かれてはいかがでしょう？

おまけの話：名古屋-舞阪間の電車の営業距離は98.5kmで、身障割引の対象は101km以上から。よって、名古屋から101kmを超える次ぎの高塚駅分まで購入し、途中下車をする方法をとると身障割引となります。帰日もJR舞坂駅から枇杷島までの乗車券を発券していただきました。



いづみの取材旅行

スケジュール：

- 9時10分 名古屋市内の自宅を車で出発。
- 9時35分 東名高速の名古屋I.Cから乗る。
サービスエリアで10分休憩
- 11時05分 浜松西I.Cで降りる
- 11時15分 花博庄内駐車場着

使ったお金：5,100円+α（高速道路手帳提示2400円、入場料1500円、クルーズ500円、電気自動車400円、きらめきタワー300円）

到着まで

浜松西I.Cを降りると、すぐの信号から看板が出ているので、分かりやすかったです。右の道路が空いている場合は、素直にそのまま信号を右に曲がり、近道。左は渋滞の場合の迂回した道。この日は、平日で空いていたので、右手に進みました。会場までバスで約5分の**庄内駐車場**で車を降りて、シャトルバスに乗り換えました。

■ データ ■

会場周辺には駐車場がないため、下記2箇所の駐車場から無料シャトルバス（一定間隔で超低床型バスを運行。車いす利用者優先乗車）に乗り換える必要あり。ストレッチャーなどの利用者で、超低床型バスに乗れない人の場合は、会場前許可車両駐車場が利用できる。（要予約 TEL053-488-1087）

駐車場：庄内駐車場（会場まで約5分）と雄踏（ゆう

とう）駐車場（会場約10分）身障者用駐車場は、シャトルバス乗り場のすぐ近くにある。

シャトルバス：各駐車場から約7分毎に運行

乗場の身障用のトイレ：（庄内）1箇所あり、北口を通過して左側にある建物内、（雄踏）

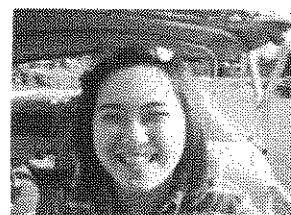
シャトルバス乗り場は、駐車場からすぐの場所にありました。駐車場は細かい砂利道でしたが、バスターミナルは舗装されていて、広くて移動しやすかったです。会場までのシャトルバスは7分間隔で出ていて、そのうち低床バスは、10～15分ほどおきに来るそうです。出発時間は随時。決まっていません。バスの固定は1台分のみでした。バス停には車いす使用の方が、わたしの他に2人いました。

会場

会場の超低床バス乗降所は、正面玄関の「ときめきゲート」に向かって左手にありました。会場へ入るとゲート右手に車いす貸出所がありました。平等を図るために、予約は受け付けていないそうです。地域から寄贈された再利用の様々な車いすがありました。

■ 貸し出しデータ ■

- 無料 車いす300台、
- ベビーカー200台、
- ステッキバック（シルバーカー）100台



◆フローラムーバー(電気自動車)

メインゲートの『ときめきゲート』駅と一番奥の『花の美術館』駅を往復しています。途中下車可能。上りが『国際庭園』駅で、下りは『ふれあい庭』。『花の美術館』駅からの帰り『ふれあい庭』駅で降りると、正面のときめきゲートに向かって、おみやげを見ながら戻ることができます。



午前中から昼過ぎは結構人が並んでいてなかなか乗れないと聞き、閉園間近に『花の美術館』駅から乗ることにしたら空いていてすぐ乗ることができました～♪最高時速6km、カーブ時は2kmほどで、この乗り物に乗らないと見ることのできない景色がのんびり楽しめます！

■ データ ■

車 両：最後尾のスペースに車いすのまま二人乗車可
(電動車いすも可)
運 行：9分間隔で発車
料 金：大人400円、子ども200円(小・中学生)、
未就学児無料
乗 車：片道約30分

◆いとりクルーズ(遊覧ボート)

自動券売機で券を買う時や、乗り込む時、一人で乗船する場合でも係の人がいて手伝ってくれます。船体はゆれにくい仕組みになっているそうで、安定感があって、車いすのブレーキをかけるだけで大丈夫でした♪会場の端から端を、世界の花々を眺めながら優雅に移動することができて、オススメです!!晴れた日は、ゆったり流れる風が気持ちいい～♪



■ データ ■

船の状況：船着き場とボート間はほぼ平坦で隙間がない。車いす2台乗車可
料 金：大人500円(高校生以上)、子ども300円(3才以上) 幼児無料(3才未満)
乗車時間：片道約15分、6隻が随時出発

◆きらめきタワー(展望タワー)

一日の利用人数が1000~1200人と決められているので、入館券が一日3回発行されます。入館券を買うだけでも並ぶので、ぜひタワーに上りたい!という方は、先に買っておくことをオススメします。

■ データ ■

料 金：大人300円(高校生以上)、子ども200円、未就学児：無料(整理券発行)
エレベーター：14人乗り

感想

花がいっぱいでくつろげるところでした。食事のできる場所は、車いすで利用できるようになっていますが、昼時はどこも並んでいました。来場者の方で車いすを利用されている方はけっこういるので、身障用トイレも並ぶことができました。園芸文化館(じゅうたん)で少し動きにくい)の中にあるトイレと、モネの家近くにあるトイレが割と穴場でオススメとスタッフさんに教えてもらいました。トイレの形式は、どこも同じようです。

不在者投票

堤 剋喜

高校の入学試験の当日。

出来るだけ、目立たないようにおとなしく振る舞っているつもりだった。

誰かを驚かせよう、なんていう気は全然なかった。

ところが、あとで伝え聞いたところによると、

僕の様子を見た校長が、ちょっとしたショックを受けたようで

「全身を使って文字を書く人を初めて見た。エライ生徒が受けに来たぞ。いいのか？」

と、生徒募集担当の先生を呼びにいったそうだ。

文字を書いている自分の姿を眺める機会は皆無だし、無理に眺めたくもないが、

どうやら、筆記は僕にとって「全身運動」らしい。

「堤さん。来月、参議院議員選挙が行われるんですが、ご存じですか？」

「はい。知ってはいますが」<何で婦長さんが選挙の話をも？>

「ご希望なら院内で不在者投票できます。

期日は未定ですが、選挙管理委員会の方が出張してくれて、各病室を回ります。

移動する必要はありません。病室で投票できますが、希望されますか？」

「希望しますのでよろしく。」<希望しないと投票できないらしい。>

「選挙公報など資料の提供までは出来かねます。ご家族の方に持ってきてもらおうとお願いします。」

院内での不在者投票をすませる前に、転院する羽目になった。

様々な引き継ぎ事項の確認で、声がかれてくる頃。

「そういえば、選挙の投票はどうなるんだろう？」「ああ、選挙ね。それもあった。」

「この忙しいときに。熱心なことを。誰ぞに頼まれたか？」

「別に頼まれたわけじゃないですが。僕がいないところに、投票用紙が来ても困る。」

「笑い事ではない。大切なことです。

私だって自分が入院患者の立場だったら、何とか投票したいと思います。

問い合わせさせていただきます。」と婦長。

「やっと選管に連絡できました。転院先の病院でも不在者投票は行われるそうです。

こちらでの不在者投票の申し込みはキャンセルされたことになるようです。

転院されたら、出来るだけ速やかに不在者投票したい旨を申し出てください。

くれぐれも棄権しないでくださいね。」

「まず、こちらにご署名を。」

封筒と鉛筆を渡され、その場で書こうとしたら・・・自分の手が見えない！！

「代筆をお願いします。装具の関係で書けそうにない。」

「あの。署名は自筆でということになっておりまして。」

「こちらは非常事態なんで。頭を固定されていて、ここでは自分の手が見えない。」

「わかりました。」代理署名成立。

次は投票用紙。

テーブルを換え、腰の位置をずらしていく。

すると、投票用紙と、鉛筆を持った右手が視野に入った。

全てひらがなで書き込む。手術後、最初に書いた文字。

面白そうな”泡沫候補”と比較的マイナーな政党に入れておいた。

選挙での棄権は、選択肢に入れない方がいい。

「死に票」は明確な批判票だし、白票も投票率を上げる効果がある。

両方とも、選ばれた人の行動を謙虚にするはず。



JTBバリアフリープラザ (名古屋発着、添乗員同行)

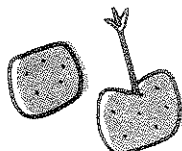
初秋の北海道

知床・阿寒・摩周・網走 味覚めぐり

道東めぐりの人気ツアー。

秋の味覚カニをメインに思

う存分郷土の味を楽しめる。



期 間： 9月26日(日)～9月29日(水)
料 金： ひとり 180,000 (2名1室)
ポイント： リフト付貸切バス利用、
28日(火)夜は大浴場での入浴介助(別
途料金10,000円)あり。

■申し込み・問い合わせ■

東京都中央区日本橋1-13-1 日鉄日本橋ビル2階

TEL 03-3273-8410 FAX 03-3273-8413

<http://www.jtb.co.jp/bfplaza/>

チックトラベルの おすすめツアー

(名古屋発着、添乗員同行)

アメリカの国立公園を巡る旅9日間

壮大なグランドキャニオン国立公園、ザイオン国立公園、イエローストーン国立公園などを巡るツアー。20億年前から2億6千万年前までの地球の長い歴史を語りかけてくる大自然の姿をたっぷり味わえる内容。気候が一番良い季節で雨も少ないシーズンに計画。

国立公園内にあるホテルは素晴らしい環境と雰囲気で大自然の雰囲気を存分に味わえそう。



期 間： 9月1日(水)～9日(木)
料 金： まもなく発表！
ポイント： リフトバス利用、身障者ルームあり

ロマンチック街道 ドイツ中世ロマンの旅

中世の街並みを思わせる国ドイツ。古い街並みや古城を眺めていると、まるでその時代にまぎれ込んでしまったような気分になります。歴史的建造物や古い街と最新の自動車産業で訪れる人が大変多い国ドイツ。

期 間： 10月3日(日)～10日(日)
料 金： ひとり 458,000円(2名1室)
ポイント： リフトバス利用、全観光、全食事付き、身障者ルームあり

バハマ・ナッソー クルーズの旅9日間

明るい太陽と陽気な人々が生活するバハマとナッソーを訪れるゆったりクルーズの旅。バハマの文化は様々な歴史や伝統、信仰を持ち寄り、とてもユニークな体験ができる。4泊5日のクルーズあり。また今回の旅ではアフリカに行かなくてもサファリ体験ができるディズニー・アニマルキングダムの観光もあり、オランダでの滞在もついているプラン。

期 間： 11月20日(土)～28日(日)
料 金： 2名1室でひとり
海側キャビン 298,000円
海側身障者用キャビン 305,000円
ポイント： 豪華客船利用

まるごと秋の京都・奈良・神戸3日間

秋の京都(平安神宮 三十三間堂など)、奈良(東大寺など)を楽しめる。観光も食事も含まれた安心プラン。

期 間： 11月予定
料 金： まもなく発表！
ポイント： ゆったり行程、リフト付きバス

■申し込み・問い合わせ■

〒460-0003名古屋市中区錦1-20-19 名神ビル6F

TEL052-222-7611 FAX052-222-1223

<http://www.heart-to-heart.ne.jp/>

初めての海外旅行 シンガポール旅行記

こんにちは！！井川潤子です。私は1種1級で生まれつき手足に障害があり、外出時は常に電動車いすを使用しています。障害を持つ私たちが地域で生活をする事をめざして生活経験を積む「福祉ホームサマリアハウス」（名古屋市昭和区）に入居してもうすぐ3年です。今回私は、高校生の妹と友達の萌ちゃんと一緒に、念願だった海外旅行に行ってきました！みなさんに報告したいと思います。



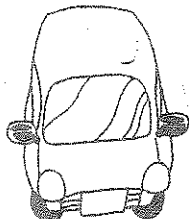
言葉：マレー語、中国語、タミール語、英語
気候：赤道直下に位置するため年中30度前後
お金：1シンガポールドル63円程度

<どこに行こうかな？>

すごく迷って、最初に行った旅行会社の人に相談したら、「アジアならバリアフリーが進んでいるのは香港かシンガポールですよ」と聞きました。そして、パンフなども見て、行ってみたいイメージに近いシンガポールに決めました。海外旅行は昔からの夢で、最近では英会話も勉強していたのでどうしても行ってみたいくなり、友達も乗り気になってくれたので、意外なほどスムーズに計画が進みました。

<旅の手配>

最初に行った旅行会社は私のような車いすの人がバリアフリーを考慮したプランを立てるには情報量が少な過ぎて話が進まず、バリアフリープランを専門としている旅行会社「ハートTOハート」(*1)に相談しました。そして、その時期シンガポールの団体ツアーがなかったので、3人で行動する個人旅行（航空券、空港送迎、ホテル、半日観光付きのバック）になりました。ひとり約14万プラス食事代やお土産代で行くことができました。(*1)本誌P21参照



<旅の行程 4泊5日>

3月1日

- 8:00 名古屋空港国際線ターミナル集合
- 9:50 出発（約7時間の旅）
- 15:55 シンガポール着（旅行会社から依頼してもらった専用車でホテルへ）
すぐに、光の噴水を観光

3月2日

- 午前 市内観光（マーライオン公園、ランパーク、エスプラネード、アラブ人街、チャイナタウン、免税店と革製品屋へのショッピング）
- 午後 スーパーで買い物・今後の行き先を相談

3月3日 タクシーで自由行動

- 動物園、ラッフルズホテルでケーキバイキング、ブランド品のショッピング

3月4日 タクシーで自由行動

- ジュロンバードパーク、ホテルでケーキ、ホテルチェックアウト後ナイトサファリ観光

- 18:00 依頼してあった専用車で空港へ

3月5日 深夜1:15 シンガポール空港発

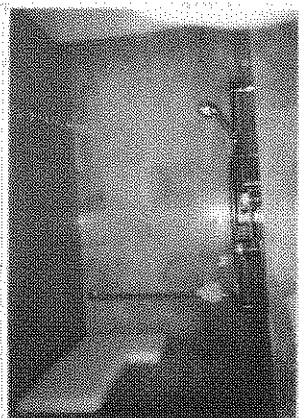
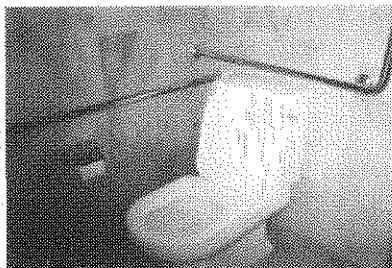
- （6時間の旅）
- 8:25 名古屋空港着

<シンガポール航空>

シンガポール航空を使いました。身障者用のトイレ（座席から機内用の車いすに乗り換えて使用）も設置されていて、シートには一人一人専用のテレビ画面もついていて映画や音楽、ゲームも楽しむことができるとても快適な飛行機でした。電動車いすは出国手続きの際に空港の手動車いすに乗り換え、搭乗の際はさらに小さい車いすに乗り換えました。

<ホテル>

「リッツカールトンホテル」に泊まりました。ここは夜景を売りにしていて、シンガポールで2番目に料金の高いホテルで……。最初は迷いました。でも、他のホテルと比べて設備も充実していて、シャワー室も車いすから乗り移って身体を洗える台がついていて使いやすそうで、旅行会社の人の強い推薦もあって、思い切ってここに決めました。朝食が付いていました。



実際に泊まってみて、高級な分だけ確かに満足 of いけるホテルだったように思います。夜景は最高でしたよ。

<観 光>

セントーサ島のピンクイルカがいるところへ行きましたが、坂道が多く大変だと言われ諦めました……。でも、その他の主な観光地にはだいたい行くことができました。ビックリしたのは一番メインのはずのマーライオン公園。途中に階段しかなくて、車いすをかついでもらわないと渡れなかったこ



とです。車いすの人は来ないのかなあ～??食べ物、トムヤンスープはまずかったが、ホテルのレストランでのバイキングは美味しかった。でも、現地のメイン料理が分からなかった……。

<現地での交通手段>

できれば現地の人と直接触れ合える地下鉄を利用したかったのですが、ホテルの人に聞いたところ、現在地下鉄はエレベータを増やしている段階で、私たちの使いたかった線でも3駅しかエレベータはないとのことでした。それでもチャレンジしてみたくて行ってみましたが、エスカレータしかなくて日本の倍位の速さで動いていてとても使える状況ではありませんでした。結局普通のタクシーを利用しましたが、日本と比べて運賃も半分以下と安く、シンガポールでの移動はタクシーが一番便利かなと感じました。乗り移りは友達に手伝ってもらって、車いすは運転手さんが積み込んでくれました。

<街の中のトイレ>

身障者用のトイレは男女それぞれの一般トイレの中に設置されていて、それ以外に身障者用のトイレもありましたが、鍵がかかっているところもあり、ほとんど女子トイレの中の身障者用を使いました。

<旅の感想>

今回の旅行で心配だったのは海外旅行初心者の3人でほんとうに行って来れるのか、ということでしたが、初心者だからこそいろいろな冒険にもなって自信をつけて帰って来れました。コミュニケーションは、一応英会話を習っているけれど、単語的な英語とジェスチャーで何とか乗り切れました。次はどこへ行こうかと…最近はそのことばかり話しています。旅行中の失敗も今となってはすべてがきれいな思い出です。車いすの人や重度の障害を持っている人だとしても行けばみんなが気軽に助けてくれるから大丈夫!!!そんなふう実感できた旅行でした。

グルメな調査隊 第33弾

名古屋市 Sさんより

白とナチュラルな木目を基調にした明るい店内。カニが入っていることがしっかりわかるカニクリームコロッケに大満足でした！！

レトロモダンな洋食や Sharry's Kitchen 花乃湯 (シャリーズキッチン ハナノユ)



場 所：名古屋市天白区原1-1615 栄和ビル1F
TEL 052-807-5475
FAX 052-807-5475

最寄り駅：地下鉄原駅 エレベーター出口より
徒歩3分、階段1番出口より徒歩1分

★ジャンル 洋食

屋号のSharry'sはご飯の'しゃり'を文字で命名。ご飯にあう洋食をというマスターのこだわりがうかがえます。夜は各種アルコールも揃い、グラス片手においしい料理をおつまみとして。



★おすすめメニュー

○ランチタイム (1000円のランチメニューのみ)

3品の料理の中から1品を選択+よせ豆腐、刺身、小鉢、ご飯、赤だし、漬物、コーヒー

○カフェタイム

クリームチーズ&スモークサーモンのベーグルサンド650円 (ハーフサイズは350円)、プレーンベーグル (ジャム・シロップ付き) 250円、ソフトドリンク各種350円 (サンドとセットで100円引き)

○ディナータイム

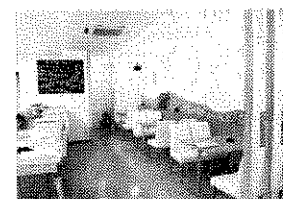
かにクリームコロッケ650円、牛すじハヤシ650円、グラタン490円、カクテル50種類、チューハイ、ワイン、焼酎など各種アルコール

★店内の様子

入り口、店内 段差なし/テーブル4人用4席、6人用1席 テーブル高さ73.5センチ
いす移動可/カウンター6席 カウンター高さ105センチ いす移動可

★トイレの様子

洋式トイレあり、手すりなし、内開きドア、入り口幅58センチ
最寄りの障害者用トイレ：地下鉄原駅構内にある



★駐車場 店前面に共用6台分 障害者用スペースなし

★営業 ランチタイム11:30~14:00、カフェタイム14:00~17:00
ディナータイム 18:00~24:00 定休日 土日祝

★サポート倶楽部の方への特典

8月末までご飲食の方5%OFF!! (会員証の提示をして下さい)

お気に入りのお店情報をお待ちしています。編集部まで TEL 052-851-0059 FAX 052-851-0159

福祉用具のリサイクル情報 (6/13現在)

欲しいもの、不要なものありませんか？
リサイクルの輪を広げよう！

◆A J U 自立の家は、なごや福祉用具プラザの中で、福祉用具のリサイクル品のコーディネートと福祉用具の販売、自立生活情報の提供などを行っています。

譲りますよ！

*金額の表示のないものは無料

★ベッド、床周り品

- ・ベッド 4年くらい使用
- ・手動ベッド 3ヶ月使用
- ・1モーターベッド KQ-103 ¥100,000 2年使用
- ・3モーターベッド ヒューマンケア介護ベッド FB-730 ¥70,000 半年使用
- ・3モーターベッド 寝返りベット K3-0070 ¥200,000 5年弱使用
- ・ベッド手すり
- ・エアーマット ¥50,000 7ヶ月使用
- ・じょくそう予防マット ¥10,000 3年半使用

★移動用品

- ・電動車いす 3～4年位使用
- ・歩行器(身長90cm～115cmの子供用) 5～6年使用
- ・屋内歩行器(数回使用)
- ・電動三輪車 ¥100,000 3年くらい使用
- ・電動四輪車(ET4E) ¥130,000 数回

★トイレ用品

- ・ポータブルトイレ 未使用に近い
- ・スカットクリーン男性用セット ¥2,000 2, 3回使用
- ・ポータブルトイレ ¥5,000 わずか
- ・安寿AR-1 爽快シャワー ¥10,000 未使用
- ・パーソナルトイレシャワポットウォッシュレット付 ¥10,000 1年程使用
- ・スカットクリーン女性用 ¥10,000 1年使用
- ・木製ポータブルトイレ ¥10,500 数回使用

- ・家具調ポータブルトイレヒーター付き ¥30,000 未使用

★その他

- ・エアークッション大 数回使用
- ・平行棒 数回使用
- ・介護リフトつるべF1Z-F1セット(支柱のみ) 数回使用
- ・階段昇降機 数回使用
- ・健康マシーン エアトラッカー(新品に近い)
- ・酸素のホース カニユーラ 未使用
- ・松葉杖 ¥2,000 数回使用
- ・スリングシート(メッシュタイプ) ¥7,500 数回使用
- ・吸引器 ¥50,000 2年半使用
- ・車いす昇降機 UD-500 ¥250,000 3年使用
- ・福祉車輛 ダイハツアトレースロープ付き(タクシー仕様) ¥1,500,000 2ヶ月使用

その他にも、ゆずりたい物、ゆずってほしい物の登録がたくさんあります。お気軽にご連絡下さい。

「譲って」欲しい方、「譲りたい！」という方、ぜひご連絡下さい。

●A J U リサイクル相談事業部●

TEL 052-851-0059 FAX 052-851-0159

ホームページでもみることができます。

<http://www.aju-cil.com>

毎週土曜日の朝日新聞(朝刊)にも、リサイクル情報が掲載されています。

名東区のHさん(車いす利用)より ～名演小劇場、リニューアルオープン～

2月14日(土)から名演小劇場が2スクリーンの映画館としてリニューアルオープンしました。従来同様にエレベータなしの階段ですが、車いすで利用できるようになりました。良質の映画を上映しています。

住所: 名古屋市東区東桜2-23-7

(東海テレビの斜向い、GSの東隣)

電話: TEL052-931-1701 FAX052-931-8588

環境: 入口に10段の階段がありますが、正面がガラス張りなので中からよく見えます。

連絡: 前日までに時間を予約してから行って下さい(人手の手配上…)

名演小劇場1: 定員105名で、三階にあります。車いすスペースとしては特に設けてありません。私の場合は玄関前からおんぶで直接客席まで運んでもらいました。

名演小劇場2: 定員51名で、一階にあります。車いすスペースは最前列の左端。

トイレ: 一階の、段差の無い男子用トイレ内に跳ね上げ式手摺の付いた洋式便器が設置されていますが、昔からあったトイレを利用しているので奥行きは狭いです。ドアは引き戸で鍵が掛けられるようになっているので、女性でも大丈夫です。

料金: 身障者料金は1000円です。

備考: 一階は椅子とテーブル、給茶機が備えられていてサロン風になっています。

一階であれば吊り上げてもらう方が簡単ですが、三階はおんぶの方が双方とも楽だと思います。

～ETC初使用!～

今年購入したETC(有料道路の料金所で止まらなくても、無線通信を利用して通行料金の支払いが行える新しい通行料金支払い方法)を初めて使用しました。料金ゲートをそのまま通過できるので、想像していた以上に楽ちんでした。

ETC車載機のスピーカーから案内される料金は一般料金でしたが、帰ってからインターネットで自分の記録を調べたらちゃんと半額で処理されていました。ETCは上肢に障害がある人こそ利用価値があるという感じでホントお勧めです。

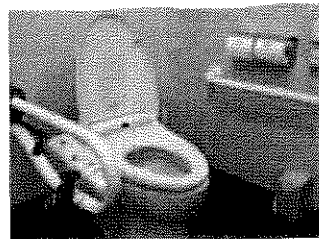
知多市のHさん(車いす利用)より 不二家レストラン「東海店」に 行ってきました。

身障用駐車場が一台分あって、入り口は緩やかなスロープがありました。店内は、フラットで、きれいな身障用トイレが一般用と同じ並びにありましたよ。

営業: 10:00～深夜2:00

場所: 愛知県東海市加木屋町丸根12-2

TEL 0562-34-2155



多治見市のSさん(車いす利用)より

丸源ラーメン「市民病院前店」はうまい!

駐車場から店内まで段差がないので移動しやすいというだけではなく、ラーメンがおいしい。「しょうゆ丸源」、「とんこつ丸源」、「こってり味噌」の3つのメニューがあって、スープ自体はあっさりしていて食べやすい。ボリュームもありますよ。

営業: 11:30～25:00

(ラストオーダー24:30) 無休

場所: 春日井市鷹木町

1-2-2

TEL:0568-87-7811

FAX:0568-87-7822

駐車: 60台

(車いす用スペースはない)

席数: 142席

(テーブル&座敷&カウンター)



障害者関連制度の動向

前号に引き続き、現状を報告します。介護保険と支援費制度の統合については、ますます動きが激しくなってきました。正念場です！！

「介護保険と障害保健福祉施策」の関係を考える 4. 30公開対話集会」の

今年の1月より、障害者8団体(*1)と厚労省は「障害者施策と介護保険」をテーマにした勉強会を定期的で開催してきました。しかし、意見が出つくしたにもかかわらず、厚労省から具体的な判断材料が出されないまま一時中断となり、大勢の仲間たちとともに、直接、厚生労働省の基本的な考え方についての説明を受け、意見交換を行おうと、4月30日、東京で表題の集会が開催されました。

(*1)日本身体障害者団体連合会、日本障害者協議会、DPI日本会議、日本盲人会連合、全日本ろうあ連盟、全国脊髄損傷者連合会、全日本手をつなぐ育成会、全国精神障害者家族会連合会

名古屋からも大勢の仲間が参加しました。当日は、厚生労働省の担当部長と3人の課長が参加し、午前中に「厚生労働省の基本的見解」を確認し、午後から、シンポジウム「徹底討論！これからの介護保険と障害保健福祉施策」が行われました。

集会での気になる厚労省発言

◎4年半準備して始まった「支援費」は10ヶ月で失敗だったということになるのか？支援費制度は破綻しているのか？という疑問に対して、厚労省は、理念は立派で、頭はついてきているが身体がついてきていないと、財政的に破綻していること、また、長期的に見て今のままで、安定的に維持していくことは極めて難しいと発言した。

◎高齢者と障害者ケアは違うというも分かっている。介護保険にあわせなくていい。年齢、障害種別をこえたきちんとした仕組みを作るやり方はあるのではないか。

◎国全体の予算の伸びは0.1%の中、障害部の予算を4%伸ばすのは大きなあつれきがある。障害者のことに関心をもっている議員は少ない。国の予算、社会保障費が伸びない中、3割伸ばして足りない予算というのは仕組みがおかしいのではないかとされる。

◎国はぎりぎりプラスということで予算を伸ばすことができた。でも、地域の自治体がどうなっているか。県や市町村に今年の予算はどうなるのか聞いて欲しい。地域で議論をして欲しい。

◎「三位一体改革」は、地方分権という基本的な考え方に立って、国の補助金や負担金、交付税を今年度から3年間で4兆円減らして、その分、税源を地方自治体に移していこうというもの。障害者福祉の補助金や負担金も、全国知事会や全国市長会から、廃止をしていいという要望が出されている。

◎介護保険のシステムを活用することは障害者に適したものになるのか心配する声がある。高齢と障害で共通するものはあるが、大きく異なるものもある。おおよそ全ての障害者サービスを介護保険で行うのではない。共通するものについては年齢・障害をとわず共通のシステムとする。介護保険の対象とならないもの、障害者の特別なものについては税財源で提供する。

◎介護保険と共通する部分を統合し、共通しない部分は障害施策で引き続き税で対応するのはどうか。

6.9 障害者の地域生活確立の実現を求める 全国大行動

厚労省は、4月30日の対話集会では「一緒に議論していきたい」と発言していましたが、具体的な説明のないまま「社会保障審議会・障害者部会」を頻繁に開催する等、介護保険への統合への準備を着々と進めています。新聞にも掲載されたように、6～7月に施設やグループホームの障害者を対象に全国で2000名を超える要介護認定の調査研究を政令指定都市に対して依頼しました。これに対し、6月9日、約1,200名という多くの全国の障害者団体が東京に集まり以下のような大行動を行いました。

**今こそ、障害者の地域生活の確立を
障害者サービスの介護保険統合も
一般財源化もNO！
国は全ての障害者の地域生活に
対する責任を果たせ！**

○**全体集会**（主催者挨拶、経過報告、来賓挨拶、障害別アピール、地方からのアピール、行動提起、要望書の読み上げ）

○**デモ行進**

日比谷公園を起点に、厚労省～総務省～財務省周辺を行進。愛知組はデモの最後尾に位置して抗議の声をあげました。

○**デモ終了後の行動**

- ①議員まわり（衆参両議院会館へ出向き、各党の厚生労働部会関係議員に対して申し入）
- ②申し入れ書提出、代表団交渉
- ③財務省前抗議行動（愛知組は障害者福祉の「一般財源化反対」のアピール、ピラまきを行う）
- ④総務省前抗議行動

○**集会報告**

厚労省前で、次々と抗議アピールの声があがる中、代表団交渉の報告がありました。報告は以下。

抗議行動を終えて（交渉団メンバー報告文）
「デモ行進が終わって、交渉団が要望書をもとに交渉しました。その席上、担当課長補佐が『介護保険統合について25日の福祉審議会の障害者部会で最終案が出る』と発言。「決定か」と一時騒然となりました。18日の同部会のヒアリングでDPIに意見を聞き25日の会議に何らかの案が出ると思われれます。そこで交渉団では18日前後に、要望書の回答を求め交渉しました。『回答する』と約束し、交渉を終えました。支援費制度問題点や介護保険統合の是非についての議論もされないまま、厚労省は、なし崩し的に統合しようとしています。私たちも、その点勉強不足も否認しません。今月の厚労省、まだまだ注意が必要です。」

★この間の情報紹介ページ

- <http://www.yuki-enishi.com/>
- <http://www.j-il.jp/jil.files/e0609.htm>
- <http://www.kaigoseido.net/topF.htm>
- <http://www1.odn.ne.jp/ikuseikai/2004/0607-3.html>
- <http://www.jdnet.gr.jp/JDWebLetter/2004/20040519.htm>

感想

施行後1年もたないうちに、「支援費制度」は方法を間違えたので介護保険制度へ統合します。なんていう大問題勃発の中・・・、どこでどう判断を誤ったか振り返らなければ先へ進めない気がする。障害者施策が高齢者施策と違って、市町村の実態調査に基づいた計画になっていないことが予算をはじき出せなかった現状ではないか？潜在するニーズを把握できていなかったとか。また、国の予算の状況、予算確保の難しさのことを障害者団体がもっと勉強する必要があったのではないかなど、重い障害を持つ人たちの今後の生活を左右する事態にしてしまったことを私たちも含めてその関係者は反省する必要がないだろうか？少なくとも私自身は、不況の中こんなに一気に制度が前進して（名古屋の場合）続いていくのだろうか？と当初は確かに思っていたから。もちろんサービスの地域格差が広がったことも認識している。

制度の統合の必要性と配慮すべき事に対する厚労省の発言は理解できる部分が多々ある。ただ、理想は誰でも言えるし考えられる。それをどう具体化するかが一番大切な部分で、その説明がないと生活がかかっている障害を持つ人は納得できない。地方にまかせて、その地域にあったサービスを行うなんてのは理想だけれど、まだそこまでの認識が地方にはないだろう。もちろん当事者が声を出して変えていく、選挙で理解のある市長を選んでいく、それはとても重要なことだと思う。でも・・・、一足飛びには行かない。計画が必要。だから絶対に統合には反対する！厚労省は介護保険の見直しを5年に一度だからこの機会にとあせっているんだろうけれど。もっともっと議論が必要。それも、制度は一人一人の生活、権利を守り保障するためにあるという基本的な認識の上に立った信頼関係を持った議論をしたい。

どうか、「私たちのことを抜きにして私たちのことを考えないで下さい」というあたり前の当事者の声をしっかり受け止めて欲しい。

「バリアフリー化推進要綱」まとまる！

6月はじめ、バリアフリーに関する関係閣僚会議で、高齢者や障害者への障壁を取り除くため、市町村ごとに整備状況を数値化した目標を策定・公表することを柱とした「バリアフリー化推進要綱」をまとめました。要綱は、概ね10年後を目処として、高齢者、障害者をはじめ誰もが社会の担い手として役割を持つ国づくりを目指すとし、政府が取り組む施策が列挙されています。例えば、2007年度までに、

○手すりや段差のない室内、車いすで通行可能な幅の廊下を備えた住宅を全住宅の1割にする。

○20-25%をノンステップ化する。

○障害者等の点検等を踏まえた基本計画の策定とこれに基づく公共施設（病院、市町村庁舎等）のバリアフリー化を推進する。

○海岸についても、海辺へアクセスしやすいバリアフリー化に配慮した海岸保全。

○高齢者等の移動制約者が観光を楽しめるようにすることが重要。宿泊施設や国立・国定公園等の施設のバリアフリー化を進める。沖縄におけるバリアフリー観光を推進する。

○学校施設のバリアフリー化を支援する。

○障害のある児童生徒等の受験機会の確保等を図る。

○障害者の雇用やその継続に伴う職場環境のバリアフリー化の支援等を行う。

などが盛り込まれている。今後の取り組みに注目したい。

<http://www8.cao.go.jp/souki/barrier-free/youkou/youkou.html>

.....

バリアフリーの観光モデルコース掲載

「あいちおすすめ旅情報」

この情報は、障害を持つ人などに安心して観光を楽しんでもらうことを目的に、愛知県の観光交流課が冊子とホームページにまとめました。実際に、



障害を持つ人(車いす利用者、視覚障害者)をモニターに実地調査して作られたコースで、地下鉄、バス、タクシーの所要時間と運賃、乗り換えする場所の地図、障害を持つ人が利用できるルート上のトイレの写真、見学施設の写真などが掲載されています。また、全てのコースに産業観光施設が含まれており、体験メニューも多く取り入れられています。

コース数：10コース（日帰りは8、1泊2日は2）

掲載内容：お勤めルート・駅から施設までの経路図・施設情報・バリアフリー情報など

ホームページ：http://www.aichi-kanko.jp/osusume

冊子：残数わずか（郵送の場合は1部180円郵送料が必要）愛知県社会福祉協議会TEL 052-232-1181 〒460-0002 名古屋市中区丸の内2-4-7 または、編集部へ TEL 052-841-6677 FAX 052-841-6622

制作：愛知県産業労働部観光交流課
〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号（県庁西庁舎7階）
TEL 052-954-6355（ダイヤルイン）

「優・遊お出かけガイド5」完成！

毎年5月に発行されているこの冊子。今回は、これまでの情報を『おすすめスポット編』としてまとめ、最新の地下鉄、市バスのバリアフリー状況と一緒に掲載されています。とても役立つ情報誌です。ぜひ、



入手して下さい。また、過去の冊子もまだ入手可能なものもあります。

入手可能冊子：「おでかけガイド 名駅編（平成13年製作 残部数僅少）」、「名古屋港編（平成14年製作）」、「名古屋おすすめスポット編（平成15年製作）」

入手方法：タイトル、部数、送り先を記入し、送料分の切手を添えて下記まで

〒460-8511（住所不要）中日新聞社会事業部「おでかけガイド」係 FAX052-221-0739

企画・編集：中日新聞社会事業部

発行：社会福祉法人中日新聞社会事業部

.....

「被害者、加害者にならない為に」

～障害者・高齢者の消費者被害の実例から～

障害を持つ人の「消費者被害」「権利擁護」について考える集まり。

内容：

○基調報告（10：00～11：30）

木間昭子（国民生活センター 主任研究員）

「障害者・高齢者の消費者被害の実態から考える」

○シンポジウム（13：00～16：30）

コーディネイター：三田優子さん（花園大学教員）

パネリスト：弁護士 グループホームスタッフほか

定員：200人（先着順）

参加費：2500円

日時：7月3日（土）

10：00（9：30～受付）～16：30

場所：朝日会館15階 朝日ホール

名古屋市中区栄1-3-3

地下鉄「伏見駅」（EVあり）下車、約7分

申込み・問合せ：「はがき」か「FAX」に、住所・氏名・所属を記入し下記へ

〒460-8488（住所不要）朝日新聞厚生文化事業団「全国GH」係り

TEL：052-221-0307 FAX：052-221-5453

主催：全国グループホームスタッフ ネットワーク／朝日新聞厚生文化事業団

04年度「愛知県人にやさしい 街づくり連続講座」受講者募集中！

「熱意★活動★ネットワーク—まちとくらしにやさしさを広げる—」をテーマに開催。地域で人にやさしい街づくりに取り組んでいる方、これから取り組んでみたいという方、いかがでしょうか？

開催：7月17日(土)～9月11日(土)毎週土曜日（8月14日を除く）と9月25日(土)、10月9日(土)の全10回。

申込み：6月26日（土）午後5時必着！

■問い合わせ：NPO法人 ひとにやさしいまちづくりネットワーク 東海 TEL・FAX 052-792-1156
〒463-0096 名古屋市守山区森宮町100

E-mail: hitomachi@npo-jp.net

★要項と申込書は下記からダウンロード可能。

<http://www.hitomachi.npo-jp.net/2004youkou/>

愛知の「ひとまち」を良くしたい ワークショップの呼びかけ

愛知県重度障害者の生活をよくする会では、他団体とともに「愛知県の人にやさしい街づくりの推進に関する条例」の改正に関するワークショップを昨年8月よりやってきました。ワークショップで議論した内容を、愛知県に条例の改正に関する提案として、昨年12月3日に第1次提案を、2月19日に第2次提案をそれぞれ提出しました。第1次提案及び第2次提案の内容は以下のアドレスにありますので見て下さい。

1. 第1次提案 <http://www.hitomachi.npo-jp.net/chosakenkyu/hitomachiws/teian01.htm>

2. 第2次提案 <http://www.hitomachi.npo-jp.net/chosakenkyu/hitomachiws/teian02.htm>

私たちとしては、幅広い障害者の声を拾うために上記の提案を公開し、意見などを募集しています。ぜひ、目を通して下さい。

FAX 052-852-4810

よくする会のキャンプだよ。 全員集合！！

今年は参加者一人一人が主人公であるということ大切に、みなさんにとって新しい出会いと発見の場になるような楽しいキャンプを計画中です。みなさまからの、とびっきりのアイデアも募集しています。一人でも多くの参加をお待ちしています。ぜひ、一緒にすてきな時間を過ごしましょう！！



場所：ひるがの高原キャンプ場

岐阜県郡上市高鷲町ひるがの4714-2

日程：7月24日（土） 25日（日）

参加費：一般6,500円、大 短大・専門学校生6,000円、高校生5,500円、小中学生3,500円、幼児2,000円

定員：60人（定員になりしだい締め切らせていただきます。なお、定員を超えた場合今回は、初めて参加される方を優先させていただきます。ご了承下さい。）

申し込み：Faxまたは、E-mail

集合場所：AJU自立の家サマリアハウス

持ち物：障害者手帳・保険証・懐中電灯・雨具・米2合・常備薬・1日目の昼食

★移動手段や介助者の手配などでお困りの方は相談にのります！！

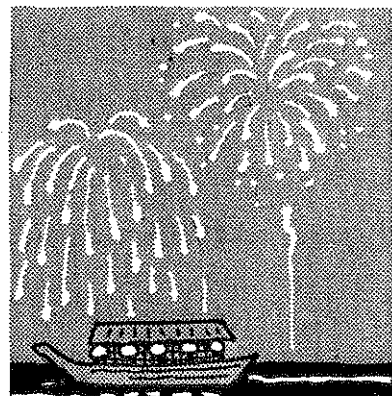
連絡先：AJU自立の家 サマリアハウス

名古屋市昭和区恵方町2-15

TEL052-841-5554 FAX052-841-2221

E-mail : yokusuru@aju-cil. com

愛知県重度障害者の生活をよくする会



医療相談室

長年、診療機関で障害を持つ仲間の医療ケアに携わってみえた「リハビリテーション医の万歳登茂子（まんざいとしこ）先生」のご協力で開設。

<相談日> 7月3日、17日、8月7日、21日

* いつでも土曜日、予約制、30分程度
時間は要相談

<対象> 障害を持っている人

<費用> 無料

<受付> 自立生活情報センター

TEL 052-841-6677

FAX 052-841-6622

E-mail : aju-inc@pop21.odn.ne.jp

<場所>

名古屋市昭和区恵方町2-15

(社福) AJU自立の家

サマリアハウス内相談室



生活の道具相談室

障害当事者、福祉、医療関係者が有志で開設。
道具の導入相談、道具の工夫や制作に対応。

<相談日> 7月3日、17日

いつでも土曜日の午後1:30~

* 事前にご連絡をいただくとスムーズです

<費用> 無料

<受付> サマリアハウス 浅井

TEL 052-841-5554 FAX052-841-2221

<場所> 名古屋市昭和区恵方町2-15

(社福) AJU自立の家サマリアハウス内

やさしい住まいの支援ネット

障害当事者、福祉、医療関係者が有志で開設し、
住宅の改造などの相談に対応。。

<相談日> 生活の道具相談室と同じ

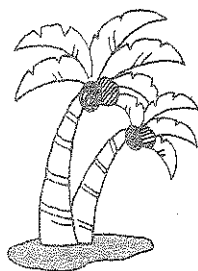
<費用> 無料 (訪問時は交通費実費必要)

* 受付、場所は生活の道具相談室と同じ

編集後記

ジーコジャパン・U-23の活躍は日本のサッカーファンのみならず、国民の多くが一喜一憂している。他のことは言わない、精神論も好まない中田英年の発言「今、手を打たなくては手遅れになる・・・」鬼気迫るものを感じた。介護保険との統合問題は疑問と不安が生じる。判らないこと、理解できないことはかりである。現在の支援費制の介助と移動の支援だけではいかなものか。教育は？就労は？・・・これではまだまだ重度の障害者の生活は支えられない。生活の質の追求はこれからである。「声を出さなきゃ」と一人、拳をグツと握りしめた。

鬼頭



AJUグループの行事のお知らせ

◎7月~ 2級ヘルパー講座開講 受講者募集中!

◎7月24日、25日 キャンプ (ひるがの高原)

◎7月27日~ 養護学校生夏季自立体験プログラム

◎8月1日 アジア障害者支援プロジェクト募金活動

◎8月28、29日 どまつり参加 (踊ります!)

それぞれ、受講者、参加者、協力者募集しています。
どうぞ協力をお願いいたします。

AJU 福祉情報誌購読者募集中!!

隔月発行

年間購読料 1,500 円

振込先: 郵便局 00890-0-90573

加入者名: 福祉情報誌発行委員会